



鍛えぬかれたフォームにこそ、 メカの真髓がある

■ジューキシンは精密工学の結晶とうたわれる高級品。シャープなスタイリングで、その名を高めています。

ジューキ

東京重機工業株式会社

久留米市に協会が誕生したのは昭和四十四年で、今年で満五才の幼児というところで。

協会発足前(昭和三十一年頃)

明善高校(女子)がインターハイあるいは国体においてはなほなしい活躍をし、(読者の皆さんには福岡県明善高校といえ、記憶にあることと思います)その刺激を受け、一般・高校のチームが集まり、親善試合や練習試合で県大会の間をつないでおりましたが、組織なしては大会運営及びハンドボールマンの継続的育成ができないところから、副会長の荒木英之氏(明善高校)、同古賀信男氏(プリヂェスタンタイヤ)と私三人が発起人となり、高校の先生方及びOB・OGの代表者と準備会をもち若きハンドボールマンの育成を図りこれと普及を目的に結成の運びとなり、市体育協会に加盟申請したところ、市体育協合理事会において満場一致で認められ、早速第一回大会(四十四年四月)を皮切りに年に春・秋二回の大会をもち現在に至っております。

発足当初は、高校五チーム(男二女三)、一般五チーム(男四女一)で大会を開くには誠に淋しい感じのチーム数でしたが、年がたつにつれ他地域からの参加申込みがあり、現在では久留米市選手権大会ではなく、福岡県南部地区選手権大会のような規模になっ

て参りました。お陰で参加チーム数もふえ、大会も冬期に室内総合選手権大会を加え、又年に一、二回市教育委員会主催によるハンドボール教室を行う等、一段と年間スケジュールも締った感じがします。特に室内大会ともなるとママさん選手の参加も見られ、子供達



久留米市(福岡)協会理事長
長野 農夫 男

理事長登壇 (13)

の声援にこたえて一生懸命にプレイするなごやかな雰囲気のうちにも年度の大会を締めくくっております。当市では今のところ余りチームの増加は見られませんが、各指導者の適切な指導により、昨年は久留米工業高校(男子)の九州大会第三位、県大会優勝、明善高校

(女子)の県大会上位入賞、プリヂェスタンタイヤ(一般男子)県大会準優勝と着々としてその成果が実ってまいりました。

加盟チームの活躍は当協会にとつて誠に喜ばしいことですが、目的の第一である底辺拡大についてはまだまだの感じがします。機関誌等で他地区での小・中学生のハンドボール教室参加、並びに活動ぶりを見る度にうらやましく思われ、又余暇の増大によりOB・OG連が次々と姿を消していくことは誠に残念でなりません。反面では、プリヂェスタンタイヤ(株)が社技としてハンドボールを取り入れ、又当市駐とんの自衛隊でも職場対抗試合が年々盛大に行われるようになり、これらチーム(職場毎)の参加対策として二部制創設を考慮し、年間を通じてハンドボール教室を開催することにより、小・中学生の導入を図り、底辺拡大に微力ながら尽くす所存です。最後に日本協会への要望を申し上げます。

第一にテレビ放映によるPR
他の球技に比べ、ハンドボールを知らない人が多いのではないだろうか？
他の球技の大半が実業団リーグ等でテレビ画面にぎやかしかしファンの増加をたどっているが、それにひきかえハンドボールのテレビ放映は少ない感じがする。

国際試合、全国的大会は勿論、実業団上位チームによるリーグ戦の企画、又これらの放映によりPRしていただきたい。

又前記大会の地方開催、巡回指導等により地方へのPRを兼ねレベルアップを図る。
第二にクラブ全国大会の企画。以前は全日本選手権又は国体等にクラブチームとしての出場が大半で実業団創立以後この種チームの極減によりOB・OGのハンドボールからの離脱が見られる。これが全国大会の企画により余暇活動(ハンドボール)の復活、あわせて健全な社会人の育成を図れる。

第三に中学校への経験者の就職指導。地区により小・中学生活動の活発なところはありますが、全国的には他球技に比べ低調であり、これら経験者の就職により中学校活動の誘導ひいては高校又は一般社会での活動による底辺拡大を図る。

社会人となると多くの者がハンドボールから離脱していく現在、先般来日したラインハウゼン(西独)のようなクラブチームが多く誕生し、生涯ハンドボールを愛し、長くプレイし、健康維持増進に精進する姿こそ我々の望むところで、これが実現に努力することが日本協会の今後の問題でもあり、社会的責任ではないだろうか？

「ハンドボール」
49年3月号(第117号) 目次

理事長登壇(13) 長野農夫男……………(1)
世界男子アジア予選……………(2)
世界男子選手権……………(5)
ヴァドマーク氏来日……………(7)
全国評議員会・理事会……………(8)
韓国女子ジュニア来日……………(12)
スタディオオンも来日……………(12)
海上自衛隊全国大会……………(13)
大洋デパート廃部……………(15)
世界女子選手権リポート……………(16)
海外トピックス……………(24)
ラインハウゼン残燭……………(24)
……………久田 晴……………(29)
各地の記録……………(30)
本誌購読料改訂……………(32)

【表紙写真】 第8回世界男子選手権アジア予選・日本×イスラエル2回戦(2月17日、テルアビブ) 〓全日本選手権撮影

日本、苦戦の末 本舞台へ進出

〜世界男子選手権アジア地域予選〜

イスラエルと1勝1引き分け

若く新しい全日本は、苦しみながらも貴重な経験をつみ、アジア代表として世界選手権へ胸を進めたい。第8回世界男子選手権アジア地域予選・日本×イスラエルの試合(2回戦制)は、日本がテルアビブに遠征して2月14、17の両日、同地のスポーツスタジアムで行われ、日本は第1戦二転三転の末14-13のリードを守り切れず、引き分けに持ちこまれたが、第2戦は前半なかばすぎから優位に立ち18-14で快勝、1勝1引き分けとなり、2月28日からベルリンなど東ドイツ11都市で開かれる本大会への出場権を得た。日本の出場は5度目。

日本は、19日テルアビブを立ちユーゴスラビアで調整、親善試合(2試合)日本誌24頁速報)のあと25日東ドイツ入りする予定。

残り90秒

終盤、同点に追いつかれる

第1戦は2月14日午後9時から八千をこす大観衆を集めて行われた。

後記 北川勇喜 (全日本監督)

審判IIシャルガヌー、シデア(ヘルマニア)

日本 14(6-6)14 イスラエル 引き分け

身長	得点
190cm	0
178	0
185	1
180	1
186	0
180	0
186	2
186	0
176	0
183	6
178	3

○……戦争に傷つきやるせない気持ちのイスラエルの人々にとっていちどは来ないと伝えられた日本の若者が姿を見せ、しかも「実力伯仲」という前評判も手伝って大体育館(収容力一万人)はほぼ満員の盛況で、その熱狂的な応援はすさまじく、ベンチからの指示はもちろぬ、レフェリーのホイッスルさえ聞きとれないほどだった。

○……キャリアに不安の全日本は最初の1点を早く奪い気持ちをおちつけたところだったが、イスラエルの一線ディフェンスを突き破れず、中井(大同製鋼)が先制点をあげるまでに8分もかかった。それまでの間に6回の攻撃機

があつたが、シュートがバーに当たるなどで逃した。

イスラエルは、ポストに一人を入れ、それほど速くはないが一人々々が小刻みな動きからシュートチャンスをつかもうとローリングを繰り返す攻撃を示した。

○……日本のディフェンスにとつて、この攻撃はさほど恐ろしいものではなかったが、12分わずかなスキをアルベルマンのステップシュートでつかれ1-1。

日本はこのあと17、19分に藤中(大同製鋼)の速攻とロングが決まったのだが、一気に追加点をつまあげられず、逆にイスラエルの反撃を許し24分3-3。村田(法大)、ヨシフォビッチの巧技の応酬など一進一退から29分7MTで6-5と日本は初のリードを奪われたが、ハーフタイム寸前藤中でタイとして前半を終えた。

○……後半、イスラエルはいきな

りヴァンゲルビッチがロングを決めたが、日本も2分浦生(富士)がロング、さらに7分フォーマーシヨンから浦生がゲットして8-7と5たび先行した。

しかし、いちだんと激しさを増した観衆の声援にまどわされ消極的となりどうしても主導権を握れず、菊池(富士)の退場や7MTの失敗などで13分間無得点、この間にイスラエルは日本の一線防禦をついてポスト、速攻と、2本の7MTで15分には11-8とリードした。

イスラエル、一時は3点のリード

○……3点差のまま残り10分となり、日本は苦境に立たされたが思い切ったチェンジメンバーで攻撃重点を探り、ディフェンスも1-5に切り替えた。20分になって7MTを藤中が決めてから、にわか動きが滑らかとなり20分ピアリックに1点を奪われたが22分30秒藤中、23分佐藤(本田技研鈴鹿)が相次いでロングを決め、24分には速攻から藤中とたたみかけ、同点、25分中井のゲットで13-12と逆転、勢いのつたと思えた。

○……イスラエルも粘り強く26分ピアリックが割りこみ13-13、日本は28分佐藤のロングで14-13と今度こそ勝負を決めたかにみえたが、30秒後ポストプレーのつぶしを7MTにとられピアリックがゴ

ール、9度目のタイスコアとなった。残り90秒の攻撃に日本はすべてを託したが、中井のロングがはずれタイムアップとなった。

○……全日本一線防禦は探ったがイスラエルのじりじりと攻めてきてくるローリングオフフェンスをこらえ切れずとび出しては、ポストを狙われての失点を重ねたのが痛く、突きはなすチャンスを通したため勝利をあげられなかった。

攻撃面でも、秘かに行った練習を探りいれられ、研究のあとのみえるディフェンスで封じこまれたことと、ベテラン木野(湧永薬品、コーチ兼任)がつぶされ無得点だったのも誤算であった。日本のシュート数は40。

(編集部注)アジア予選第1戦の経過は一部で、終盤リードされていた日本が、辛くもタイム寸前14-14の同点に追いついたと報じられたが、実際はその逆であったようだ。

木野の大記録ストップ

全日本・木野実選手(FP、湧永薬品、立大出)は、この試合ポストマンとゲームメーカーに廻ったため無得点に終わり、41年9月の中国戦(駒沢)以来41試合にわたってつづけていた公式国際試合連続得点記録がついにストップした。国際的には、本誌の調べではGグレイア(ルーマニア)の103試合連続がある。

ベテランが活躍、後半一気

第2戦は2月17日午後8時から五千五百の観衆を集めて行われた審判IIシャルガス、シデア(ルーマニア) II個人記録は4頁日 本 18(10-17)14 イストラエ

後記 北川勇喜

世界選手権へ乗りこむ全日本男子

○……日曜日の夜、イスラエルでは初めて、それもゴールデンアワに全土へのテレビ中継があるため観客の出足は鈍く、スタンドは空席が目立った。しかし応援のげしきは変わらず騒然たる雰囲気の中に試合開始。

エルは3分ホフマン、日本は3分40秒佐藤で互角のすべりだし。イスラエルは4分マドモニが決めてリードしたが、日本も柳川弟(大同製薬)が8、9分連続ゲットで3-2。このあとは一進一退をつづけ15分4-4と拮抗した。

○……イスラエルは16分ホフマン、18分7MT(ピアリック)、22分アルベルマンと連続得点して6-4、場内を沸かせた。しかし、日本は、木野が第1戦の沈黙を一気に突き破るようになり積極的な仕掛けで23分から26分まで連続3ゴール、この活躍で態勢を立て直した。

イスラエルは27分得意のポストから1点を返したが、日本は28分7MT(藤中)で優位をキープ、29分中井、29分30秒木野で3点差

スポーツ服装専門メーカー 株式会社 デサント



夏目 真治



藤中 憲二(主将)



林 遠夫(団長)



菊池 悟



佐藤 要二



北川 勇喜(監督)



村田 幸男



中井 武三



木野実コーチ兼選手



柳川 実(弟)



大江 隆夫



本田 洋



蒲生 晴明



花輪 博



柳川 清(兄)

《本格派》

デサント
スポーツ服装

- ハンドボール ●ベースボール
- ゴルフ ●スイミング ●スキー

純競技仕様

＝すぐれた機能は美しい＝

デサント製品はすべて本格派の名にはじない《純競技仕様》……その孤高の世界へ肉迫した成果をご着用下さい。

THE BEST
for typical sportsmen

original by

DESCENTE

世界選手権 2月28日開幕

第8回世界男子選手権は、アジア代表に日本が決まり、参加16ヶ国が勢揃い、2月28日から3月10日まで東ドイツのベルリンなど11都市で行われる。

本誌既報のとおり日本は予選リーグC組で東ドイツ(ミュンヘン五輪4位、前回2位)、ソビエト(五輪5位、前回9位)、アメリカ(五輪14位)と顔を合せる。

北川監督は「優勝候補の呼び声高い東ドイツには不利としてもソビエト、アメリカから勝ち星をあげベストエイト(準決勝リーグ)へ進みたい」とアジア予選に出発する前から話していたが、最近の成績をみていると、ソビエトも東ドイツとほぼ互角の実力で、この見通しはかなり苦しいといわなければならない。

さらにアメリカのレベラアップがめざましく、IHFの一部では、この大会を機に「アジアアメリカ」の立ち場が逆転するのではないかときさやかれているとい

う。

日本は、モントリオールに備えてメンバーをがらりと代えたが、期待の若手が、まだじゅう分にヨーロッパでの試合に、持ち味を発揮するに至っていない。イストラエル戦から引きつづきの転戦による疲れも気になる。

日本が世界選手権へ参加するのは第4回(昭36)以来これで連続5回目だが、かつてない苦戦を強いられそうである。

こうした状況の中だが日本協会荒川理事長は「今回の布陣はあくまで2年後のモントリオールへのステップ、高望みはしていないが、少くとも前回の10位、ミュンヘンでの11位というこのあたりの

線は確保して欲しい」といっている。つまり、予選リーグでの1勝は、絶対的条件、なわけ。

アメリカはバスケットボールからの転向者が5人おり、ヨーロッパのハンドボールになれた目にはかなりトリッキーに見えるアレクサンダーをくりひるげる。日本が得意の速攻と、粘りのある守りを示せば過去2戦2勝(21-15、20-16)の実績から推しても楽な相手なのだが――。

イストラエルに苦しんだあげく代表権を握り、若い全日本はかなり気をよくしており、勢いにもっていているのではないかと明かっている見通しをたてる人も少くない。期待をもって見守ることにしよう。

なお、優勝争いは前号既報のように東ドイツ、ソビエト、チェコ、ルーマニア、ユーゴなど東欧圏諸国によるものとみたい。(杉)

○予想される3国のメンパー(本誌調べ)：○

「東ドイツ」GKボアト、ボスク、FPガンショフ、ハイルドブランド、ロスド、ラケンマッハ、ボルト、エンゲル、ピエック、カーラート、シュミット、

「ソビエト」GKシチュエフ、コンセルギン、FPマキシモフ、クリモフ、パノフ、チカライエフ、レザノフ、ウサチ、ラグティン、グリエフ、ストリヤノフ、マシヨリン「アメリカ」GKリブニヤク、オズリオ、FPマシユウス、アブラハムソン、スパークス、ウレム、ナイロール、ハルディマン

第8回世界選手権 予選リーグ組分け

▽C組(日程)	日	本	東	ド	ツ	(17時30分)
2月28日(木)	ソ	一	ア	イ	カ	
						(ベルリン)
3月1日(金)	東	ド	イ	ツ	ア	(20時)
	日	本	ソ	ビ	エ	
						(ブランデンバーク)
3月3日(日)	日	本	ア	メ	リ	(17時、
						ブランデンバーク)
						東ドイツ
						ソビエト
						(ベルリン)

▽A組	チェコ、西ドイツ、アイスランド、デンマーク
▽B組	ルーマニア、スウェーデン、ポーランド、スペイン
▽D組	ユーゴ、ハンガリー、ブルガリア、アルジェリア

準決勝リーグ組分け

▽1組 A組1, 2位, B組1, 2位

▽2組(日程)

3月5日(火)	C組1位—D組2位	(シュエリン)
	C組2位—D組1位	(マグドバーク)

3月7日(木)	C組1位—D組1位	(ベルリン)
	C組2位—D組2位	(デゾー)

9~12位決定リーグ

~予選リーグ各組3位~

3月5日(火), 7日(木), 9日(土)
(ピスマールほか)

順位決定戦

3月9日	7位決定戦,	3位決定戦	(ベルリン)
3月10日	5位決定戦,	決勝戦	(ベルリン)

(注)今回は13~16位決定戦は行われない。

トヨタと共に躍進するセントラル

クラウン・コロナ・ピックアップ・ライトバン製作



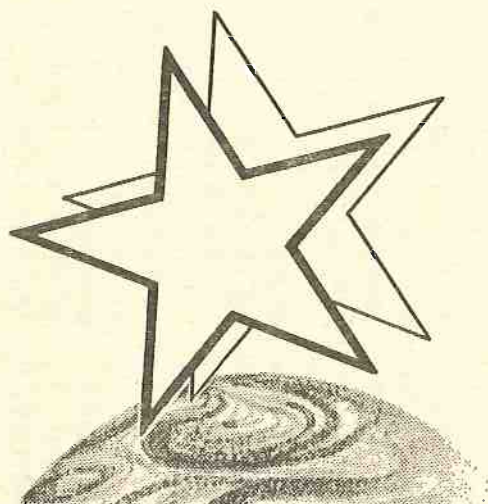
セントラル自動車株式会社

神奈川県相模原市大山町4番12号

TEL 相模原(0427)72-6111(大代表)

加入電信 2872-205 サガミセントラルSGM

明日を創る



特殊鋼づくりをはじめ、工業炉から
省力・公害防止装置まで、鉄鋼・非鉄
各種生産ラインのシステムをつくる
企業、それが大同製鋼です。

★ 大同製鋼

取締役社長 武田 喜三

本社 名古屋市中区錦・丁目11-18(興銀ビル)
支店 東京・大阪・福岡・札幌・広島
営業所



新発売!!

ハンドボール L E - S P

- サイズ 22.5~28.0
- カラー 白×赤オニツカライン
赤×白オニツカライン
- ¥6,700

俊敏な動きができる新鋭——

先制『攻撃』用

Onitsuka 競技に適した軽くて動きのいい——



タイガー®ハンドボール

競技者を支える総合スポーツ用品メーカー **オニツカ株式会社** 神戸・大阪・東京・福岡・名古屋・仙台・札幌

IHF理事 ヴァドマーク氏に聞く

日本協会が、中東情勢への不安からいったんは第8回世界男子選手権アジア予選権を内定(本誌前号既報)したことはIHF(国際ハンドボール連盟)筋に思われ波紋を投じたようで、最高幹部の一人、カート・ヴァドマーク常任理事(58才、行事委員長、スウェーデン)が日本側の事情聴取とIHFの姿勢説明のため、東京へ派遣された。

日本協会は、1月26日午後、東京渋谷の体協内「スポーツマンクラブ」で田村正衛会長、渡辺和美副会長(IHF理事)、荒川清美理事長、滝口三郎、杉山茂常務理事らが同氏を迎え、約2時間にあたって今回の問題や、今後のIHF事業について話しあった。以下はこの会見におけるヴァドマーク氏の談話(要旨)である。

日本の「アジア予選権」の動きとIHFの態度

日本が、今回の世界選手権アジア地域予選を棄権することになりそうだが、という情報を耳にしてIHFは正直のところ困惑した。

たしかに、日本人のゲリラ観と我々には差があるだろうし、昨年12月、ユーゴでIHFが日本協会関係者と話合った時は、中東政情がかなり不安でもあった。しかし、今はまったく戦争状態ではないし、ゲリラ問題も今回あるいは

日本だけが特に危険にさらされているわけではない。

もちろん、IHFも「安全」には万全を期しており、エミール・ホルレ氏(IHF審判・規則委員長)がスイスナショナルとともにテルアビブへ遠征、調査している。

IHFは、テルアビブにおけるアジア予選は、まったく安全かつ公平に行われることを確信しており、日本が、一時的にせよ棄権を考えたことは残念である。

IHFを代表してマックス・リッケンバーガー氏(事務総長)が日本に対して「ペナルティを科すこともあろう」と通告したのは、日本の棄権がIHFの考えている方向とは逆の方向に進むからだ。

IHFは、ハンドボールが伝統のスポーツとして盛んに行われている国や、組織がしっかりし、意欲的にハンドボールを普及、研究している国と組んでこのスポーツ

を世界的なスポーツにしようとする力している。そのためには、日本はIHFに欠くべからざる存在であり、その日本が、自己の立ち場だけを考えてアジア予選を棄権することは、IHFにとって不利益だ、とリッケンバーガー氏はみただのである。

イスラエルのアジア地域所属について

イスラエルは現在でもヨーロッパカップ(注・ヨーロッパ各国チャンピオンチームによる大会)には代表を送っているが、アジア地域に属するIHF加盟国が東西両極端に分かれている事情もIHFは識っている。

しかし、イスラエルはAGF(アジア競技連盟)の加盟国でありIHFが、再び同国をヨーロッパ地域に戻す(編集部注・イスラエルは一九七〇年までヨーロッパ地域)かどうかは今のところなにも云えない。

アジアを東、西に分けるのも一方法だが、そうすると西サイドはイスラエルが孤立してしまい、結局、アジア代表を決める必要が生じた場合、イスラエル対東サイドとするのはかたはらない。

オリンピックハンドボールについて

——ミュンヘンオリンピックで

の実施は、ハンドボールの声高を大いに高め、モントリオール(一九七六〇年)でさらに大きな飛躍を遂げるだろう。

モントリオールは男子12ヶ国、女子6ヶ国で行なうが、男子は今年第8回世界選手権優勝国と開催国(カナダ)のほか10ヶ国は来年10月以降、大陸別の予選で選出することになる。

女子はカナダと、次回の世界選手権上位5ヶ国に決まった。男子のように大陸別の予選を行わないのは、優秀な国同士の試合によって女子のハンドボールというものをこの機会をとらえて全世界に「宣伝」したいからである。

一九八〇年のオリンピックは、モスクワが最有力とみられ、そうならばハンドボールの実施は間違いない。もし、ロシアやベルギーなどに開催地が決まった場合、ハンドボールは微妙だ。どのような都市でオリンピックが行われてもハンドボールがはずされないために一日も早く、世界のスポーツにする必要がある。

今後の世界選手権について

——オリンピックへの定着、オリンピックでの男女実施によって世界選手権の開催サイクルも変えねばならない。具体案は今秋のIHF総会で決まると思うが、男女ともオリンピックの中間年毎、つ

まり4年に1回(編集部注、現行は男子が3年に1回、女子が2年に1回)となる。1年間に男女両方の世界選手権では経済的な負担が大きくなり、これが一つの問題だ。

世界学生選手権について

日本はユニバシアードへの参加(包含)を希望していると聞くが、ユニバシアードは現在でも規模が大きすぎて悩んでいるようだし、新種目の加入は難しい。

ハンドボールは273年に1回単独開催しているが、IHF事業でないことでもあり、特にユニバシアードへの参加を働きかけてはいない。

アジア地域のハンドボールについて

(この問題は必しも私の領域ではないが、と前置きして)最近インドが、大学を中心に急速な発展を示している。

中国については、加盟申請があれば喜んで迎えるが、台湾を追放するのが条件ならば問題である。

アジア選手権やアジアカップなどを日本が中心となり是非開いて欲しいが、その場合、IHFが経済援助することは現時点では難しい。(文責、編集部。この会見にあたりハインツ・ブラッシュ氏へ大崎電気腐託へ通訳願いました)



カート・ヴァドマーク氏
IHF理事

昭和48年度男子ナショナルチーム

【ナショナルA (第8回世界選手権代表)】

GK	田川本柳	洋清	(大)	阪	イ	グ	ス	180	26	才
			(大)					175	22	
FP	中井藤川	憲武	(大)	同	同	製	鋼	179	22	
	藤中花柳	二博	(大)	同	同	製	鋼	181	24	
	野江藤	夫二	(大)	同	同	製	鋼	178	23	
	木佐藤	隆要	(大)	同	同	製	鋼	175	20	
	大佐夏	夫二	(大)	同	同	製	鋼	180	28	
	夏目池	治悟	(大)	同	同	製	鋼	172	24	
	田生	幸晴	(大)	同	同	製	鋼	180	24	
			(中)	早	法	研	品	180	22	
			(中)	早	法	研	品	186	21	
			(中)	早	法	研	品	175	20	
			(中)	早	法	研	品	192	19	

【ナショナルB】

GK	田藤	正一郎	(法)	大	大	大	大	187	20	
	柴藤	幸	(日)	大	大	大	大	186	20	
FP	野藤	肇	(日)	大	大	大	大	180	20	
	音藤	幸	(日)	大	大	大	大	175	20	
	津藤	幸	(日)	大	大	大	大	180	22	
	穂藤	幸	(日)	大	大	大	大	180	22	
	上原	幸	(日)	大	大	大	大	180	21	
	松柳	幸	(日)	大	大	大	大	178	22	
	大脇	幸	(日)	大	大	大	大	180	21	
	熊若	幸	(日)	大	大	大	大	180	21	
	村中	幸	(日)	大	大	大	大	180	22	

ヤング全日本 (男子)

GK	小市	佐藤	(大)	大	大	大	大	180	19	
	三田	祥信	(本)	大	大	大	大	175	20	
	酒谷	信	(日)	大	大	大	大	180	21	
FP	上村	茂生	(中)	大	大	大	大	178	21	
	藤岡	健三	(中)	大	大	大	大	176	20	
	丸井	健三	(中)	大	大	大	大	182	19	
	松井	良三	(中)	大	大	大	大	165	19	
	藤井	康三	(中)	大	大	大	大	187	19	
	丸井	康三	(中)	大	大	大	大	177	21	
	藤井	康三	(中)	大	大	大	大	170	17	
	中利	三郎	(中)	大	大	大	大	180	18	
	生本	三郎	(中)	大	大	大	大	185	18	
	原井	三郎	(中)	大	大	大	大	186	20	
	見田	三郎	(中)	大	大	大	大	184	20	
	施野	三郎	(中)	大	大	大	大	184	20	
	林藤	三郎	(中)	大	大	大	大	176	20	
	藤野	三郎	(中)	大	大	大	大	180	20	
	野林	三郎	(中)	大	大	大	大	179	20	
	藤野	三郎	(中)	大	大	大	大	182	18	
	藤野	三郎	(中)	大	大	大	大	176	18	
	生野	三郎	(中)	大	大	大	大	188	16	
	和泉	三郎	(中)	大	大	大	大			

○印は昨年度からヤング入りしている選手

▼昭和50年度▽第6回世界女子選手権 (モスクワ)。上位5ヶ国がモ

目白押しの国際事業

今後の国際交流については、執行部から向こう5年間の予定行事が並べられた。発表された内容によれば、

▼昭和53年度▽第7回世界女子選手権、▽第9回世界男子選手権、▽昭和54年度▽オリンピック予選と、毎シーズンすき間のないライ

問題かかえる「アジア予選」

オリンピック、世界選手権は、男女ともにアジア予選がさげられず、今回の男子遠征のように国際事情、安全などの問題がつきまとうため、各理事の発言もしめり勝ちで、さしあたり、来年度に予定されるモンテリオールオリンピックアジア予選については、荒川理事長に一切を委任することとなった。消息通は、同予選には日本、韓国、イスラエルのほか台湾、クウェート、レバノンや仮加盟のイ

送りこむには、綿密な強化計画がない以上、成就が難しく、さらに、いずれも一千万〜二千万円の経費が必要で、強化・予算両面から日本協会は「これまででない緊迫した局面に立たされている」(荒川理事長)。大きな成長への陣痛ではなからうか。

予 算 問 題

49年度予算については、神田財務担当が、今年度は海外遠征の予定がないため、一般会計は二千万円内におさえ得るが、来年度以降の相次ぐ大事業のために、資産の確保につとめたいと説明。

関東一円をネットする...ワイドサービスチェーン

医薬品全般
高級化粧品

健康から未来をひらく

株式会社 日進商会

NSC

日進子

める」ことが確認された。新規事業では、評議員会で小袋評議員から、OG(クラブ)に対する施策が強く望まれ、田村会長は将来構想として研究することを約した。

▼男子(16チーム)▽前年度優秀2(大同製鋼、湧永果品)、全日本実連4、全日本学連3、全日本教職員連、全国社会人各2、全日本自衛隊連、全国高体連、開催地代表各1

▼女子(12チーム)前年度優秀2(日本ビクター、田村紡)、全日本実連4、全日本学連2、全国高体連、全国社会人、次年度団体開催地代表、開催地代表各1

「国際審判員要項」審判部
など決める

日本協会審判部は1月26、27の両日静岡で合同会議を開き、国際審判員に全日本総合選手権のレフェリングを義務づけるなどをもりこんだ「要項」の制定と、「公認審判員規定」の一部変更を決め、2月11日の全国会議で承認をうけた。

日本ハンドボール協会
国際審判員に関する要項

日本ハンドボール協会における国際審判員の取り扱いについては国際ハンドボール連盟(以下IHF)

Fと称す)の国際審判員規定によるもの他、次の要項による。

I 国際審判員の推せん基準
(1)日本ハンドボール協会のA級登録審判員であること。但し、A級審判員として5年以上の経験を有することを原則とする。
(2)人格、試見とも国際審判員としてふさわしいこと

II IHFへの申請
該当者には毎年8月末日までに通知し、申請に必要な書類を作成して9月初旬にIHFへ申請する。

III IHFへの申請者の決定
上記Iの基準にもとずき、審査委員会において人選する。

IV 国際審判員の義務
国際審判員は国際競技のみならず国内の競技の審判も担当し、常に指導的な立ち場になければならない。また、全日本総合選手権大会に審判員として参加する義務がある。

V 登録料
国際審判員として認定された者は、登録料(申請に要する費用を含む)五千元を定められた日までに日本ハンドボール協会へ納入しなければならぬ。
附記 本要項は昭和49年4月1日より施行する。

公認審判員規定の一部変更

14 (審判員の登録)

A級、B級、C級の各級公認審判員は下記によって登録を行なわなければならない。

一、登録の期間 毎奇数年度の5月1日から5月31日までの期間
二、登録料 A級及びB級500円 C級300円
三、登録の手続

各都道府県ごとに一括し、登録者の名簿(所定の様式)2部を作成し登録料をそえて日本ハンドボール協会審判部に提出する。日本ハンドボール協会審判部は、必要手続きの後、名簿1部と登録済証を返送する。登録済証は手帖に貼付する。

四、資格の消滅
登録を行わない場合には、公認審判員の資格を失なう

(注)「日本協会規程集」をお持ちのかたは19頁上から5行目「14(資格の更新)」全文を削除し、20頁の余白に「14」として右の改正分を書き添えられると便利です。

日本から7氏が公認
IHF審判員名簿

IHF(国際ハンドボール連盟)1月18日「一九七四年度国際公認審判員名簿」を発表した。

それによると総数は34ヶ国20名で、日本からは後掲の7氏が公認された。注目されるのは台湾から初めて4氏がリストアップされたこと。韓国は今回1人も公認を受

けていない。

【日本協会国際審判員】安藤純光 佐野和夫、岡前義春、稲石三三、岡本克彰、山田 計、中西敬一

普及部長に宮本氏新任へ

日本協会は2月10日の全国理事会で、渡辺(慶)常務理事が兼務

(代行)していた普及部長、技術部長のうち、普及部長(常務理事)に宮本西嗣氏(50才、日体大出、千葉大学教授、日本協会普及部委員)を会長推せん理事として新任するよう要請することになった。これで理事数は31名となる。

昭和49年度日本協会主要事業

- ・スタディオン・I F (デンマーク男子)招待 3月31日~4月10日 各地(5試合)
- ・第5回日韓女子社会人交流 5月, 韓国(=予定)
- ・第15回全日本実業団男子選手権リーグ 5月25日~6月16日 各地
- ・第6回全日本自衛隊選手権 6月14~16日(東京体育館)
- ・第8回(女子第3回)日韓学生交流 6月 国内各地
- ・第15回全日本実業団女子選手権 7月3~7日(盛岡市)
- ・第25回全日本高校選手権 8月2~7日(北九州市八幡)
- ・第9回日韓高校交流 8月 韓国・釜山市
- ・第17回全日本教職員選手権 8月10~13日(四日市市)
- ・第3回全国中学生大会 8月17日~19日(奈良市立体育館)
- ・第1回日本一東ドイツ(男子)交流 8月31日~9月11日 各地(5試合)=内定
- ・第24回(女子第6回)全日本学生選抜東西対抗 9月15日(名古屋市)
- ・第15回国際ハンドボール連盟総会 9月(イタリア・ベニス)
- ・第29回国民体育大会ハンドボール競技 10月21~25日(水海道市)
- ・第17回(女子第9回)全日本学生選手権 11月19~24日(仙台市)
- ・第4回日韓社会人交流 11月 国内各地
- ・第26回全日本総合選手権 12月11~15日(東京体育館)
- ・昭和49年度全国男子実業団トーナメント 50年2月(広島県=予定)

ン、T・ヨルゲンセンなどが主力とみられる。

同クラブは、二千と伝えられるデンマーク男子界の頂点に立つ全日リーグ一部(10クラブ)に属し、一九六六(昭四二)年昇格以来3位、4位、6位、6位、4位、3位とトップクラスに名をつらね、昨シーズン宿願の初優勝を遂げた。

北歐特有の華やかなプレーを身上とし、国内でも多くのファンを得ているが、今季は出足不調で現在は3位である。

対する日本側は全日本教職員ベテラリストの静岡教員団がトップを切り、昨年あたりからめつきり力をつけてきた新進実業団・二和家具(岐阜)、伝統を誇る名門クラブ・愛知教員など国内中堅の単独チームが並ぶ。

実力的には湧永薬品、大阪イーグルスが主力に予想される全大阪の試合ぶりに注目が集る。

全日本は、いわばこの試合が「世界選手権杯国営迎撃試合」だが、ここで負けるようではまずい。全大阪、全日本の陣容は3月に入って発表される。

なお、デンマークからの来日は史上初。(注)別掲の日程のうち時間はない。

名古屋で「ビッグ4リーグ」

全日本実連は、このほど、これまで大同製鋼(愛知)、湧永薬品

(大阪)、大崎電気(埼玉)、三景(東京)の4強によってつづけていた定期戦「ビッグフォアリーグ」

を同連盟事業として受けつぎ朝日新聞社のバックアップを得て一段と発展した規模の大会とすることと決めた。その第1回を3月21、22日の両日名古屋・愛知県体育館で開くことに内定した。

この大会は、4年前、大崎電気三景、湧永薬品、芝浦工大が「4強対抗」として対戦したのを母体に、47年からは芝浦工大に代って大同製鋼が加わり「実業団ビッグフォア」となった。今年の大会はこれまでどおりの4チームで行うが、近い将来には全日本実業団の上位4強あるいは、学生、教職員のトップチームを加えることも検討したいと当番チーム・大同製鋼の中浜大輔氏(監督)はいつている。

【第1回朝日招待全日本実業団ビッグフォアリーグ】▽3月21日13時、湧永薬品×大同製鋼、大崎電気×三景▽3月22日10時、三景×大同、湧永×大崎、三景×湧永、大崎×大同。

5月25日に開幕
日本実業団リーグ
全日本実連は、昭和49年度から全日本実業団選手権を上位チームのリーグ戦で各地転戦によって行うよう検討していたが、新年度は5月25日から6チーム、6日間の日程で実施することになった。

第1航空群が連勝

海上自衛隊 全国大会

第2回全国海上自衛隊大会は2月14日から16日までの3日間長崎・佐世保市立体育館に22チームが参加して行われ第1航空群(鹿児島)が、全日本自衛隊1位の第3術科校(千葉)に快勝、2年連続大優勝旗を獲得した。

大湊地方	11	(5-10)	5	舞鶴地方	
第2護衛	13	(7-13)	4	第1護衛	
第3術科	12	(6-11)	11	徳島教育	
▽準決勝				空群	
第1航空	22	(13-9)	3	6	大湊地方
第3術科	15	(8-7)	3	8	第2護衛
▽3位決定戦					隊群
第2護衛	19	(11-8)	11	15	大湊地方
▽決勝					隊
第1航空	23	(13-10)	11	10	第3術科
第3術科	15	(8-7)	3	8	隊群

▽1回戦 第1航空群(鹿児島)25-10 第2掃海群(神奈川)、第2航空群(青森)15-10 第1掃海群(広島)×大湊地方隊18-13 第3護衛隊(京都)、第2護衛隊群24-7 第1潜水隊群(広島)、佐世保地方隊(長崎)25-3 第2潜水隊群(広島)31 航空群(山口)18-5 第4護衛隊群

▽2回戦 横須賀地方隊(神奈川)17-12 小月教空群(山口)、第1航空群16-8 呉地方隊(広島)、舞鶴地方隊(京都)12-7 第2航空群、大湊地方隊12-9 江田島(広島)、第2護衛隊群16-7 第21航空群(千葉)、第1護衛隊群(神奈川)25-8 佐世保地方隊、徳島教育群(徳島)14-8 第31航空群(山口)、第3術科校(千葉)14-9 第4航空群(千葉)

後記 田村幸雄
1. 2回戦では佐世保地方隊が第1護衛隊群に敗れる番狂せがあり、このほか小月教空群も前半のリードを守り切れず、横須賀地方隊に逆転負けした。千葉県内にあってライバル意識を燃やす第3術科校(全日本自衛隊1位)×第4航空群は上位進出をかけて白熱したが第3が押し切った。
ベストエイト(準々決勝)では第3術科校×徳島教育航空群がもつれた。第3は立ちあがり三浦宮本らで4-0とした、徳島も36才のベテラン田上の好リードで追いあげ22分5-5とした。後半も一進一退から予断を許さなかったが、

第1航空 26 (131-2) 8 横須賀地方隊

第3は11-11から終了間ぎわ西田が貴重な決勝点をたたきこんだ。その他の3試合は順当の結果で第1航空群はエース中水流の活躍などで横須賀に快勝、大湊も前半の優位を活かし、第2護衛隊群は地元の声援に依って勝ち進んだ。準決勝は第1×大湊が意外の大差で終わったのに対し、第3術科×第2護衛は気力にあふれた好試合。速攻、ポストと多彩な攻撃を見せる第3が前半巧く主導権を握ったが、第2も後半の立ちあがりよく得点、勢いになって逆転するかと思えたが、第3は守りを固めてリードを守り、押し切った。

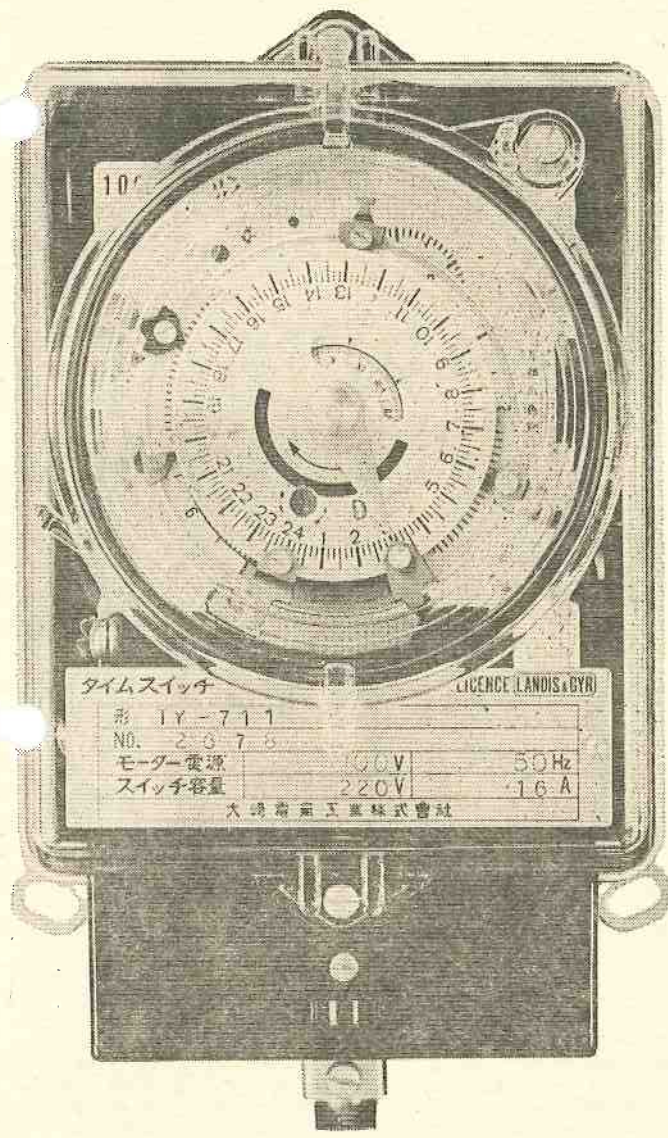
決勝戦は海上ハンドボール界を代表する強豪同士。序盤はたがいにチャンスを活かして互角だったが15分をすぎたから第1が中水流、立野の連続4ゴールで一気に第3を引き放した。後半も第1がいきなり3ゴールして13-5とし、館内を埋めた多数の観客の援をうけた第3は必死に追いあげたが、大量リードで余裕をもつ第1はディフェンスの動きもよく10分すぎからは一方的な経過になってしまった。

優勝はじめ上位は落ちつくべきところにおさまったが、昨年よりも全般的レベルは向上、伯仲したせりあも見られるようになり、来賓席に並ぶ各隊司令も一言一要するにぎやかな大会であった。

Osaki タイムスイッチ

TYシリーズ

24時間では足りないあなたに 1日=72時間



大崎タイムスイッチならそれが可能です。
 毎日、毎週、毎月、定時刻に自動的にスイッチを〈入・切〉するあらゆる設備機器や
 年間の日没・日出時刻に応じ、自動的に照明を〈入・切〉する場合に最適です。



大崎電気工業株式会社

〒141 品川区東五反田2丁目2番7号 TEL.03 (443) 7171番

大洋デパート

廃部を正式決定

立石電機（熊本）に移籍

□…「大洋デパート」が昨秋の同社大火事による白肅で、ついに姿を消すことになった。
 フェア、スピードイ、スマーイなど試合ぶりでハンドボール界ではめずらしく全国的にファンを得てきた同チームが、このようなかたちで球界を去るとは誰が予想しただろう。その強さにおいては、改めて説明する必要もなからう。

□…藤田日本協合理事（九州）の話によれば「廃部」は今年早々に同社役員会で決められたそうだが、この報せを受けた熊本協会は、約一ヶ月にわたり、なんとか「大洋の姿」を熊本にのこそうとつとめ、県スポーツ界、県財界などとの話しあいをつづけてきた。
 □…1月末になって「大洋」をそっくりそのまま引き取りたいという企業がみつかった。県内山鹿市

に工場をもつ立石電機（本社・京都市）。同社・立石一真社長が熊本出身であることも幸して、話は一気にまとまり、2月7日現部員13人と今春大洋入社予定の2人あわせて15人の「移籍」が熊本県庁内の知事室で関係者立会いのもとに公けにされた。
 □…去就を注目されていた監督の井薫氏（中大出、48年度全日本女子監督）も7日の発表席上で、大洋→立石への転籍が決まり、引きつづき陣頭指揮をとることに決まった。昭和36年以来12年にわたる「大洋デパート」の強く華やかな球史はそのページを閉じたがその名は日本ハンドボール界にいつまでも輝きを失うことなく光りつづけるであらう。

大洋デパート全国大会優勝記録

▽全日本総合同	5回	（6連覇継続中）
▽全日本実業団	7回	
▽NHK杯	7回	
▽NHK杯	7回	
▽昭和44年度	4回	（2回）
▽昭和45年度	4回	
▽昭和46年度	4回	
▽昭和47年度	4回	
▽昭和48年度	4回	
▽昭和49年度	4回	
▽昭和50年度	4回	
▽昭和51年度	4回	
▽昭和52年度	4回	
▽昭和53年度	4回	
▽昭和54年度	4回	
▽昭和55年度	4回	
▽昭和56年度	4回	
▽昭和57年度	4回	
▽昭和58年度	4回	
▽昭和59年度	4回	
▽昭和60年度	4回	
▽昭和61年度	4回	
▽昭和62年度	4回	
▽昭和63年度	4回	
▽昭和64年度	4回	
▽昭和65年度	4回	
▽昭和66年度	4回	
▽昭和67年度	4回	
▽昭和68年度	4回	
▽昭和69年度	4回	
▽昭和70年度	4回	
▽昭和71年度	4回	
▽昭和72年度	4回	
▽昭和73年度	4回	
▽昭和74年度	4回	
▽昭和75年度	4回	
▽昭和76年度	4回	
▽昭和77年度	4回	
▽昭和78年度	4回	
▽昭和79年度	4回	
▽昭和80年度	4回	
▽昭和81年度	4回	
▽昭和82年度	4回	
▽昭和83年度	4回	
▽昭和84年度	4回	
▽昭和85年度	4回	
▽昭和86年度	4回	
▽昭和87年度	4回	
▽昭和88年度	4回	
▽昭和89年度	4回	
▽昭和90年度	4回	
▽昭和91年度	4回	
▽昭和92年度	4回	
▽昭和93年度	4回	
▽昭和94年度	4回	
▽昭和95年度	4回	
▽昭和96年度	4回	
▽昭和97年度	4回	
▽昭和98年度	4回	
▽昭和99年度	4回	
▽平成元年度	4回	
▽平成2年度	4回	
▽平成3年度	4回	
▽平成4年度	4回	
▽平成5年度	4回	
▽平成6年度	4回	
▽平成7年度	4回	
▽平成8年度	4回	
▽平成9年度	4回	
▽平成10年度	4回	
▽平成11年度	4回	
▽平成12年度	4回	
▽平成13年度	4回	
▽平成14年度	4回	
▽平成15年度	4回	
▽平成16年度	4回	
▽平成17年度	4回	
▽平成18年度	4回	
▽平成19年度	4回	
▽平成20年度	4回	
▽平成21年度	4回	
▽平成22年度	4回	
▽平成23年度	4回	
▽平成24年度	4回	
▽平成25年度	4回	
▽平成26年度	4回	
▽平成27年度	4回	
▽平成28年度	4回	
▽平成29年度	4回	
▽平成30年度	4回	
▽令和元年度	4回	
▽令和2年度	4回	
▽令和3年度	4回	
▽令和4年度	4回	
▽令和5年度	4回	
▽令和6年度	4回	
▽令和7年度	4回	
▽令和8年度	4回	
▽令和9年度	4回	
▽令和10年度	4回	
▽令和11年度	4回	
▽令和12年度	4回	
▽令和13年度	4回	
▽令和14年度	4回	
▽令和15年度	4回	
▽令和16年度	4回	
▽令和17年度	4回	
▽令和18年度	4回	
▽令和19年度	4回	
▽令和20年度	4回	
▽令和21年度	4回	
▽令和22年度	4回	
▽令和23年度	4回	
▽令和24年度	4回	
▽令和25年度	4回	
▽令和26年度	4回	
▽令和27年度	4回	
▽令和28年度	4回	
▽令和29年度	4回	
▽令和30年度	4回	
▽令和31年度	4回	
▽令和32年度	4回	
▽令和33年度	4回	
▽令和34年度	4回	
▽令和35年度	4回	
▽令和36年度	4回	
▽令和37年度	4回	
▽令和38年度	4回	
▽令和39年度	4回	
▽令和40年度	4回	
▽令和41年度	4回	
▽令和42年度	4回	
▽令和43年度	4回	
▽令和44年度	4回	
▽令和45年度	4回	
▽令和46年度	4回	
▽令和47年度	4回	
▽令和48年度	4回	
▽令和49年度	4回	
▽令和50年度	4回	
▽令和51年度	4回	
▽令和52年度	4回	
▽令和53年度	4回	
▽令和54年度	4回	
▽令和55年度	4回	
▽令和56年度	4回	
▽令和57年度	4回	
▽令和58年度	4回	
▽令和59年度	4回	
▽令和60年度	4回	
▽令和61年度	4回	
▽令和62年度	4回	
▽令和63年度	4回	
▽令和64年度	4回	
▽令和65年度	4回	
▽令和66年度	4回	
▽令和67年度	4回	
▽令和68年度	4回	
▽令和69年度	4回	
▽令和70年度	4回	
▽令和71年度	4回	
▽令和72年度	4回	
▽令和73年度	4回	
▽令和74年度	4回	
▽令和75年度	4回	
▽令和76年度	4回	
▽令和77年度	4回	
▽令和78年度	4回	
▽令和79年度	4回	
▽令和80年度	4回	
▽令和81年度	4回	
▽令和82年度	4回	
▽令和83年度	4回	
▽令和84年度	4回	
▽令和85年度	4回	
▽令和86年度	4回	
▽令和87年度	4回	
▽令和88年度	4回	
▽令和89年度	4回	
▽令和90年度	4回	
▽令和91年度	4回	
▽令和92年度	4回	
▽令和93年度	4回	
▽令和94年度	4回	
▽令和95年度	4回	
▽令和96年度	4回	
▽令和97年度	4回	
▽令和98年度	4回	
▽令和99年度	4回	
▽平成元年度	4回	
▽平成2年度	4回	
▽平成3年度	4回	
▽平成4年度	4回	
▽平成5年度	4回	
▽平成6年度	4回	
▽平成7年度	4回	
▽平成8年度	4回	
▽平成9年度	4回	
▽平成10年度	4回	
▽平成11年度	4回	
▽平成12年度	4回	
▽平成13年度	4回	
▽平成14年度	4回	
▽平成15年度	4回	
▽平成16年度	4回	
▽平成17年度	4回	
▽平成18年度	4回	
▽平成19年度	4回	
▽平成20年度	4回	
▽平成21年度	4回	
▽平成22年度	4回	
▽平成23年度	4回	
▽平成24年度	4回	
▽平成25年度	4回	
▽平成26年度	4回	
▽平成27年度	4回	
▽平成28年度	4回	
▽平成29年度	4回	
▽平成30年度	4回	
▽平成31年度	4回	
▽平成32年度	4回	
▽平成33年度	4回	
▽平成34年度	4回	
▽平成35年度	4回	
▽平成36年度	4回	
▽平成37年度	4回	
▽平成38年度	4回	
▽平成39年度	4回	
▽平成40年度	4回	
▽平成41年度	4回	
▽平成42年度	4回	
▽平成43年度	4回	
▽平成44年度	4回	
▽平成45年度	4回	
▽平成46年度	4回	
▽平成47年度	4回	
▽平成48年度	4回	
▽平成49年度	4回	
▽平成50年度	4回	
▽平成51年度	4回	
▽平成52年度	4回	
▽平成53年度	4回	
▽平成54年度	4回	
▽平成55年度	4回	
▽平成56年度	4回	
▽平成57年度	4回	
▽平成58年度	4回	
▽平成59年度	4回	
▽平成60年度	4回	
▽平成61年度	4回	
▽平成62年度	4回	
▽平成63年度	4回	
▽平成64年度	4回	
▽平成65年度	4回	
▽平成66年度	4回	
▽平成67年度	4回	
▽平成68年度	4回	
▽平成69年度	4回	
▽平成70年度	4回	
▽平成71年度	4回	
▽平成72年度	4回	
▽平成73年度	4回	
▽平成74年度	4回	
▽平成75年度	4回	
▽平成76年度	4回	
▽平成77年度	4回	
▽平成78年度	4回	
▽平成79年度	4回	
▽平成80年度	4回	
▽平成81年度	4回	
▽平成82年度	4回	
▽平成83年度	4回	
▽平成84年度	4回	
▽平成85年度	4回	
▽平成86年度	4回	
▽平成87年度	4回	
▽平成88年度	4回	
▽平成89年度	4回	
▽平成90年度	4回	
▽平成91年度	4回	
▽平成92年度	4回	
▽平成93年度	4回	
▽平成94年度	4回	
▽平成95年度	4回	
▽平成96年度	4回	
▽平成97年度	4回	
▽平成98年度	4回	
▽平成99年度	4回	
▽令和元年度	4回	
▽令和2年度	4回	
▽令和3年度	4回	
▽令和4年度	4回	
▽令和5年度	4回	
▽令和6年度	4回	
▽令和7年度	4回	
▽令和8年度	4回	
▽令和9年度	4回	
▽令和10年度	4回	
▽令和11年度	4回	
▽令和12年度	4回	
▽令和13年度	4回	
▽令和14年度	4回	
▽令和15年度	4回	
▽令和16年度	4回	
▽令和17年度	4回	
▽令和18年度	4回	
▽令和19年度	4回	
▽令和20年度	4回	
▽令和21年度	4回	
▽令和22年度	4回	
▽令和23年度	4回	
▽令和24年度	4回	
▽令和25年度	4回	
▽令和26年度	4回	
▽令和27年度	4回	
▽令和28年度	4回	
▽令和29年度	4回	
▽令和30年度	4回	
▽令和31年度	4回	
▽令和32年度	4回	
▽令和33年度	4回	
▽令和34年度	4回	
▽令和35年度	4回	
▽令和36年度	4回	
▽令和37年度	4回	
▽令和38年度	4回	
▽令和39年度	4回	
▽令和40年度	4回	
▽令和41年度	4回	
▽令和42年度	4回	
▽令和43年度	4回	
▽令和44年度	4回	
▽令和45年度	4回	
▽令和46年度	4回	
▽令和47年度	4回	
▽令和48年度	4回	
▽令和49年度	4回	
▽令和50年度	4回	
▽令和51年度	4回	
▽令和52年度	4回	
▽令和53年度	4回	
▽令和54年度	4回	
▽令和55年度	4回	
▽令和56年度	4回	
▽令和57年度	4回	
▽令和58年度	4回	
▽令和59年度	4回	
▽令和60年度	4回	
▽令和61年度	4回	
▽令和62年度	4回	
▽令和63年度	4回	
▽令和64年度	4回	
▽令和65年度	4回	
▽令和66年度	4回	
▽令和67年度	4回	
▽令和68年度	4回	
▽令和69年度	4回	
▽令和70年度	4回	
▽令和71年度	4回	
▽令和72年度	4回	
▽令和73年度	4回	
▽令和74年度	4回	
▽令和75年度	4回	
▽令和76年度	4回	
▽令和77年度	4回	
▽令和78年度	4回	
▽令和79年度	4回	
▽令和80年度	4回	
▽令和81年度	4回	
▽令和82年度	4回	
▽令和83年度	4回	
▽令和84年度	4回	
▽令和85年度	4回	
▽令和86年度	4回	
▽令和87年度	4回	
▽令和88年度	4回	
▽令和89年度	4回	

世界女子選手権リポート

「モントリオール」への提言

全日本女子監督

井 薫

第五回女子世界選手権大会での収獲と反省については鈴木義男氏(コーチ)が報告されているので、三年後に迫ったモントリオールオリンピックを目指す世界への提言を主として、私のリポートと致します。

(一) 四十九年度ナショナルチームの早期結成を。

この事に関しては、過去ナショナルチームに携った諸氏と、共通意見である。大会が近くなつてのチーム結成や、とり急いでの強化では「世界」を指す姿勢としてはまったく不十分で、今回の場合のように少くとも一年前に準備される、数回の合宿を経ての、大会参加の有無に係はらず、これぐらいの強化及びチーム構成の確立を、継続的に行なうことが不可欠である。したがって女子の場合来年には早くも上位5ヶ国がモントリオール行の権利を得る第6回世界選手権が開かれるのであるから早急に「49年度ナショナル」を充足させる必要があり、それが最も基本

的な強化策であると思う。

(二) 攻撃に於ける強化点。

今大会に於ても、速攻、フオームーションと日本の特色を生かした得点の場面は屢々あり、これに破壊的なそして確率の高いロングシューターの育成が行なわれれば、そのロングシュートから必然的に生まれるポスト、ブレイも併せて、欧州チームに見られない多面的攻撃が期待できると思う。今回も、古佐原、高野と云った一m五十台の小柄なブレイヤーが、身体全体を使った鋭い動きで、大活躍をしたが、この人達を生かす、大型ブレイヤーが育成され、この二つが巧みに噛み合はされた時は、一ゲームの得点も高められる訳で、欧州勢とも、作戦面、コンディショニングの面での互角あるいはそれ以上と云ったレベルに達するであろう。

(三) 防禦に於ける強化点。

これはもう、ポストブレイ対策の一言につきると云つても過言ではない。勿論、身長差からくる高い打点のジャンプシュートや、大

きいシュートモーション或いは、ボールを完全に握ったブレイからの、フェイントブレイも脅威ではあるものの、ポストブレイの強引さ、巧みさ、そしてそれらの要因と云える。体格差の相違こそ、技術的進歩を期待する前に、解消しなければならぬ最も大切な事である。つまり、攻撃の面で叫ばれる大型化は、実は防禦の、それもロングシュート対策と云う場面にではなく、ポストブレイの場面に最も望ましいと思える。勿論、総てのスポーツが大型化にやっきとなつては、昨今、おいそれと大型選手の発掘、育成は、難しいものの、全国のハンドボール関係者を網羅しても、そう云う人材の確保に、力を集中していただき、ナショナルチームにも最低一―二名は、デフェンス専門とも思えること云ったタイプの選手の登用も成されるべきであろう。更にチーム全員が、絶え間ないフットワークを身につけ、ポストに入るパスの段階での、チェックと攻撃のリズムを狂はず。技術的、感覚的、進歩、訓練は、当然成された上での、大型選手の起用でなければ、折角の価値も、無意味になる事は、明きらかである。

(四) ゴールキーパーに就て

今回の、西独、オランダ戦の勝

因のひとつにゴールキーパー(小原、和田)の活躍を特筆したい。

従来よりの観念で、キーパーの強化は、即チーム力のアップ、勝負の行方を決める等と分かつてはいるものの、つい、フィルドブレイヤー中心の練習計画に走るケースが多く、監督・コーチ等、現場を預るものとして、特殊な練習や、キーパーにのみ要求される筋力の養成等に目を向ける、必要性を痛感した。

最後に今回の遠征には、藤原侑、池田鉄哉両氏が(編集部注・両氏とも全日本女子コーチ)自費同行され、せつかくの見学、視察にもかかわらず親善試合、世界選手権を通じて全日本チームのスタッフ同様に助力をいただいたことに感謝するとともに皆様へ報告いたします。また、派遣人員については、日本協会の「12名」という線があり競技運行面には支障ないものの、遠征中の疲労回復度や、全日本の系統的強化という面からは、機会を見て増員を打ち出していただきたいと思います。

今後は、我々が肌で感じてきたさまざまな経験や、持ち帰ったデータを用いて新しいチームに役立てて欲しいと思い、求められればいつでも協力の準備のあることを申し添えてペンをおきます。

日本で外国同士の試合を

オリンピック競技に本格採用となつて以来、ヨーロッパをはじめ外国ハンドボール界の動向に興味をもち出しましたが、残念なのは、迫力満点といわれる本場同士の試合を見る機会がないことです。

1年ほど前、テレビでオリンピックの決勝戦が放送され大変楽しかったのですが、その後はこうした番意でなりませぬ。

明日への提言

非、日本で開く努力を期待します。理なら、3国対抗でもいます。これまでにア

ジャ予選の時に、イスラエルと韓国が東京で対戦し、観客も少なかったのですが、ヨーロッパのAクラス同士なら関心と呼ぶと考えます。また、テレビ局にヨーロッパの一流カドのフィルムを放映することも働きかけて欲しいものです。それと、日本で世界選手権というのはまだまだ夢でしょうか。【千葉県柏市・石田克彰・21才・学生】

収穫と反省と……

全日本女子コーチ

鈴木 義 男

オランダでの前哨戦（国際トーナメント）に優勝し、幸先よしと全員明るい希望と強い自信をもって検舞台に臨んだが、またしても予選の壁を破ることは出来なかつた。

国際トーナメントで14—12で勝ったノルウェーに照準を合わせ、決勝リーグへの進出を合言葉に綿密な作戦をたてて試合に臨んだ。ところが我々を驚かすことが眼前に突発した。それはカレン・フラセットの登場である。前回の大会で一メートル八一の長身の彼女に、日本はおしまくられているだけ作戦的に随分気を配ってきた。オランダでの国際トーナメントからずつと顔を見せていないだけに、関係者の間では引退説が強かった。これは作戦だったのか、それとも旗色悪しと見て急遽呼び寄せたものかはさだかではないが、さすが世界の第一線級、実にすばらしいプレーで5点をもぎとられ16—9のスコアで涙をのんだ。結局、九—十二で決定リーグで、オランダ、西ドイツに快勝したが、十位に終わった。

世界選手権ともなると、どの試合も世界最高のレベルのものであり千変万化、電光石火お互いの秘術をつくして展開されるプレーの流れは、力と力の対決、技と技との激突、心と心の熱戦により美の極致にまでそれらがまとめ上げられていくだけに、その一コマを取らせているだけにして表現することは仲々むずかしいことである。特に12月15日、ベオグラードのスポーツホールで、八千人の大観衆の興奮と熱気、割れるばかりの声援の中で行なわれたユーゴとルーマニアの優勝戦を見て、その感を深くした。今大会で優勝したユーゴをはじめ上位を占めた共産国チームを中心特に気のついたことをあえて取り上げて見たいと思う。


まず第一に基本に対して実に忠実であることをあげたい。オフフェンスの場合特にすばらしいフォーメーションとか派手なプレーは見られず、個人技を基盤にしたフリーオフフェンスが主で、一見単調な攻め方の様だが、実に基本に忠実なプレーに終始徹している。パスした直後のポジシヨンのとり方の巧妙なこと、ゴール前をよく走り、柔みのあるパスワークで攻撃が間断なく続き、相手の隙を見るや間一髪見せるカットインプレー

の鋭さ、又それは再三七メートルスローを誘発する原因ともなる。どのチームもポストプレーを執拗に使い、ロングシューターとポストとのコンビは常に基本通りに行なわれ、そのうまさば絶妙の一語に尽きると思う。

更にこれら上位チームには、必ず強力なロングシューターがいて常にチームをリードし、得点を重ねて勝利へのキーポイントを握っていることを忘れてはならない。さて我々の敗れた、いや勝てない最大の原因は、日本のお家芸ともて言われている速攻のチャンスをつかみ得なかつたことです。長身からのロングシュートは強烈で、このボールをカットすることは至難であり、又あらゆる角度からの多彩なシュートは、成功の確率が極めて高いため速攻のパターンに結びつけることはできず、その糸口を見つけることさえ出来ない状態であった。

近代化を誇る
湧永薬品広島工場

湧永薬品株式会社



体力増強
キョーレイピ
廣野園信徳社製

本社/大阪市福島区上福島南3-142 TEL. 06-458-8901-5
東京支店/東京都港区三田2-7-16 TEL. 03-451-6996-7891

支店/横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌
工場/広島・和歌山

世界女子選手権リポート

力感にあふれたルーマニア

…予選リーグ第1戦…

古佐原 ひろ子

選手権の第一戦は、強敵ルーマニア。同国は前回四位に留まったチームながらかつては世界一の座についたこともある。今回は随分メンバーも変わり、チーム力も落ちたとか伝えられたが、さすがは伝統の上位チーム、ゲームに臨んだら、強引なプレーを見せた。「下手は下手なり」と言うことがばあるが、若手は若手らしく一人々々に力強さが感じられた。若いプレイヤーを引っぱっていたのはポストプレーヤーでルーマニアの柱でもある一番年長の選手。リードしながら、自分のプレーをも十分に生かす、特にポストにボールが入ったら、もうシュート体勢、さらにその体勢からの粘りは凄まじい物があった。このプレーは判っていないながら日本は同じケースで何点もとられた。この他の選手も強引なカットイン、ロングシュート、男子なみのサイドシュートを打ち分け、そのうえ耐久力がバツグン……。

力感にあふれたチームカラーは色あせていなかった。日本は得意の速攻が出ず、動きが止まってしまい単発シュートが多く一方的に押しまくられた。得点に結びついたのは単独で強引なフュントと視野外からの廻り込みからのもので、結局はダブルスコアで完敗した。大会直前、同じ共産国ユーゴと2試合し、強引でダイナミックなプレーに少し慣れていたためルーマニア戦もダブルスコアで、止められた感じ。もし、いきなりぶつかっていたら、そのアタックにとまどいもって大差で負けていたかもしれない。その意味で選手権前の対戦は、共産国のほうが大きな収穫をあげられると思う。

云いかえれば西欧、北欧諸国の中で日本は、その実力において最右翼といえることができる。これは、先ごろ来日した西ドイツのラインハウゼンクラブでも判るように、これらの国は、女子のハンドボール界は「勝負よりも健康、美容を優先」しているクラブが主流となっているからだと思ふ。

日本女子が、世界(ヨーロッパ)の壁を破るには、やはり共産国対策が第一である。ユーゴ、ルーマニア、ソビエト、ハンガリー、ポーランド、チエコと今回のベスト6は、すべて共産国であり、おのずとこの意味ははっきりする。彼女たちのプレーはスキなく調

守備の乱れに泣く対ノル

…予選リーグ第2戦…

島田 夏枝

前日ルーマニアに破れ念願の決勝リーグ進出をかけた翌九日の対ノルウェー戦に臨む。前半はお互いにポストプレーヤーや7MTなどで得点し一点差に終り勝負を後半にかける。後半に入り堅い日本のポストプレーヤーへのディフェンスに対し作戦を変えたノルウェーはロングシューターのエアース・フラセット選手(カーレンが愛称)にボールを集め積極的上からのロングシュートを打って来る。これまでの試合ではほとんど無かったロングシュートに対し「ボールへのつめ」「シュートタイミングをつかむ」等の指示があったにもかかわらず、味方ディフェンスの退場なども加わり立ち上がり十分程で五点差がついてしまっ

練され、ダイナミックでたくましいのが共通している。今回も反省として、前回と同じくディフェンスの力と技に課題を残りオリピック出場を果たすためには、より以上精力的なディフェンス練習に力を入れる必要がある。

(FP・東京重機工業)

オリンピックの技術が生きている。

東京、メキシコ、ミュンヘンと連続3回オリンピック試合球に選ばれたミカサの超高級ナイロン糸巻きの技術の粋がこのボールにもすべてに生かされています。

(科学のボール・完全防水……クラリーノ製(準検定)もあります。)

日本ハンドボール協会検定球



MIKASA®



明星ゴム工業株式会社

広島・東京・大阪・福岡・名古屋・札幌

第五回世界女子ハンドボール選手権大会の決勝戦は十一月十五日ユーゴスラビアとルーマニアで行なわれました。決勝戦を観戦する為には宿舎から車で約十分、小高い丘にある体育館へ。すでに体育館の中には数千人の熱気を帯びた観戦客で満員、国を挙げての応援と言っても過言ではないほどで国旗を打ちふる人、声をかぎりに声援する人、又人に目を見はらされました。試合はまずユーゴの得点で始まりそれを追うルーマニア、得点的にはユーゴがリードして展開しましたが、ムード的にはルーマニアの追いあげに(フ)がある感じでは半はルーマニアが逆転するのではないかと思いましたが結局前半七：七、後半九：四の十六：十一でユーゴの初優勝と決まりました。この試合で感じた事はルーマニアはシユートを打つ者が完全に限られており、その者をマークさえすれば他の者の動きも制約され結局連係プレーとまでいかず単発的な攻めで終るといふ様なゲースが多かった様に思えます。ユーゴの方はそれぞれ選手が自分の個性を強く打ち出しており要所々々では必らずと云って良いはどシユートモーションでル

ーマニアのバックスを怯やかしていたプレーが目立ちました。隣国ではあるし、大会がある度に試合をして、お互い手の内を知った者同志という事もありやりにくかったのではと思つたが、国の名誉を賭けての凄まじ

世界選手権決勝 ユーゴ対ルーマニア戦を観て 垂水秀代 (全日本女子主将)

いばかりのフアイトを激突させての一戦でした。そして褒められるべきではないと思つるが要所々々での有意義とも云える故意的な反則。勝つ為にはどのようなラフプレーもいとわれないとさえ見える気迫に改めて驚ろ

かされました。日本の場合、この国にも技術的、精神的、そして気迫という面は決して引けは取らないと信じています。二度の遠征を通して痛感した事は外人チームと戦うにはやはり体格的に恵まれている方がすべてにおいて有利、という事です。数年後に開催されます選手権では私達の果せなかつた夢をきつと果してくれるだろうと信じつつペンを置くことにします。(F.P.元大洋デパート)

◇ ◇ ◇

優勝したユーゴ女子の球史は、かつて古いものではない。本格的な強化は一九五〇年代の後半からだ。しかし、初出場した第2回世界7人制(一九六二)でいきなり4位、第3回(一九六四)には準優勝する躍進だった。一九六七年のモスクワ大会が行われていればここで栄冠を握ったかもしれないが、流会となり、前回(一九七〇)も2位に甘んじた。今回は初めから自信にあふれみごとに男女世界制覇の偉業を遂げた。30才の名GK イストバノビッチ、29才のエース、トルテイのほかは若手が多くモントリオール優勝も夢ではない。日本とは今回の2回を含めユーゴの3戦3勝。

も大切なこの試合に全力を出し切れず敗れた事は本当に残念で、いかなる場合にも動じない「精神力」。この事の大切さをつくづく感じた試合でした。(F.P.元大洋デパート)

平均身長170こす上位国

遠征のたびに云われるのは日本とヨーロッパ各国の体力差、体格差である。

コーチングスタッフもつねに「この差」の解消に頭を悩ましているようだが、今回も上位国の平均身長は170をこえていた。

優勝したユーゴはルキエ(21才、F.P.)の173cmを最高に、177cm 1人、176cm 2人、173cm 3人、172cm 5人、170cm 2人、170cm 2人と云う布陣で169cm、164cmという選手が二人いたがウエイティングメンバーだった。

2位のルーマニアは平均身長が171cm、3位のソビエトが172cm、4位のハンガリーが172・2cmと知るどベストフォアへの進出に「170」は一つの条件に思えてくる。

上位で、このラインを割っているのはチェコの168・5cmだが、この国は平均体重が66kgと、参加国のうち最高だ。

ちなみに、日本が勝利を得た西ドイツは168・1cm、オランダは170cmちょうど。

日本選手の平均身長は161cm。このハンデが当分埋まらないとすれば別の活路が求められよう。

世界選手権は4年毎?

ヨーロッパのスポーツ報道関係筋が伝えるところでは、IHF(国際ハンドボール連盟)は、これまで2年おきに開いていた女子の世界選手権を今後は4年おきに改めることを確定したようである。

これは、女子もオリンピックでの実施が定着したことによるものだが、一部では、女子の国際トーナメントは、男子に比べてはるかに少ないため、「4年説」には必ずしも賛成していないと云われる。

またIHFは、女子の普及へ本格的にのり出すことになり、そのPRのために、モントリオールオリンピックでは、「地域」を無視して、次の第6回世界選手権の上位5ヶ国に出場権を与え、内容の濃い試合を全世界に見せることを決めている。

第6回世界女子選手権については一九七五(昭50)年の11月または12月に開かれることが内定しており、開催地はモスクワが有力のようだ。

この日程が本決りになると、来る春までに地域予選完了が義務づけられそうだが、日本協会は、新年度内にアジア予選の実施はさげられないものとみている。

世界女子選手権リポート

多彩な動きでオランダ圧す

9-12位決定リーグ

小原 名 苗

ベストエイトの夢が破れた私たちでしたが12月12日からは気を取りなおし、ノビスラッドという町で行われた順位(9-12位)決定戦に臨み、まずオランダと対戦しました。オランダには前回の選手権大会で前半リードしていたながら逆転され涙をながした屈辱をほらすため闘志をもち、試合にのぞみました結果、スコア15-10(前半9-3)で初勝利をかざることができました。十一月下旬にオランダで試合をやり16-10で勝っていることで、精神的に各自思いきりプレーできたことが勝因にもつながっていると思います。一番の勝因は日本の持味の速攻を生かしたことです。速攻をおせたこともディフェンスが固く、足も動きがよかったです。オランダは共産国と違い、私達にはやりやすいチームのように思いました。共産国のチームはロングシュートの威力とくにポストブレイクに粘りがあり、必ず7MTをとるブレイク、ポストにもそれほど強さは感じ

ませんでした。体格差はだいぶ違いますが、オフフェンスでは、日本の多彩な動きで充分通用して得

点出来ました。しかしディフェンスでは、まだまだ、学ぶことがたくさんあります。ポストブレイクに対しての守り方とバックとGKの声の連携が必要だと思いました。予選でルーマニア、ノルウェーに完敗したのも、ポストで7MTをとられたことです。大きいプ

レイヤーのポストでの粘りのある動きをどうやってつぶすか、日本チームの課題のように思います。日本はどこへいっても応援が多く、試合中ヤーボン、ヤーボンといて声援して貰う事は実にたのもしくそう云ったムードでオランダに勝つことができました。初勝利で忘れることのできない試合です。(GK、元大洋デパート)

東独に守りの弱さつかれる

9-12位決定リーグ

蔵田 照 美

予選リーグでノルウェーに勝ち決勝リーグへ進出出来るものばかりかと思っていましたが残念な事に逆に五点差をつけられて、十二月十一日順位決定戦の開かれるノビスラッドに向かわなければならぬ結果になってしまいました。

前日のオランダ戦は我々の持味速攻を中心に勝利をあげる事が出来ましたが、東ドイツ戦ではとくに長身が多くロングとポストでやられてしまった事が残念でたまりません。この東ドイツのチームは二年前の世界選手権ピオンチーフムでやはりそれだけの強さを持つたチームでした。結果的には十五対十のスコアで負けてしまいました。試合内容は選手権大会に入っ

てから一番良い試合ではなかったかと思えます。個人々々の持ち味を生かして、着々とコンスタントに得点する事が出来たし気力の面でも充実していたと思えます。

先回の世界選手権の反省レポートを読むと誰れもがこのディフェンスの弱点について書いておられました。残念な事に私も又これと同じ事だったと反省しなくてはなりません。

味速攻を中心に勝利をあげる事が出来ましたが、東ドイツ戦ではとくに長身が多くロングとポストでやられてしまった事が残念でたまりません。この東ドイツのチームは二年前の世界選手権ピオンチーフムでやはりそれだけの強さを持つたチームでした。結果的には十五対十のスコアで負けてしまいました。試合内容は選手権大会に入っ

てから一番良い試合ではなかったかと思えます。個人々々の持ち味を生かして、着々とコンスタントに得点する事が出来たし気力の面でも充実していたと思えます。

先回の世界選手権の反省レポートを読むと誰れもがこのディフェンスの弱点について書いておられました。残念な事に私も又これと同じ事だったと反省しなくてはなりません。

失点内容は、ロングかポストがほとんどなので中途半端に前に出るのではなく、先を読んでボールが来る瞬間早いアタックとポストは正面で守り、きき手をつぶすと、この事ばかり口うるさく言われて練習して来ましたが、いざ試合となると意識してやっても大きい体と力とではほとんどふり切られ

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使われて居る!

セブン



サービス部

新宿区新宿2丁目電停前
TEL (341)2979-1016

望月運動用品KK

東京都墨田区横川橋4丁目6
TEL 本所 (622) 0746



観衆の大声援をうけた日本は西ドイツを破り10位を確保した
(西ドイツ「週刊ハンドボール」誌から)

二年前の第一戦が西ドイツとでした。あの時はチーム全員が初出場でもありキヤリアもなく無我夢中で戦ったにもかかわらず、個々の持味を充分發揮できずゲームセットとなり唇をかんだ思い出があります。ふたたび西ドイツと顔を合せ、お互いにメンパは多少変わりますが負けられない一戦でした。館内は私達日本に声援を送って下さる観衆で熱気をおび、チーム一同闘志に燃え試合開始のフォイスルと同時に日本のペースでゲームが運ばれました。どの試合でもポストプレーで7MTを取られたり退場したり苦戦だけにこのゲームではディフェンスに重点を置きフットワークと声の連絡による連けを一層密にしたのですが、体格的にも体力的にも差があり、ディフェンス時にフットワークするだけで「全体力」を使い果してしまふ状態となり、精神力と気力で立ち向うだけでした。

西ドイツは日本の長所、欠点をよく知っていました。我々もここにきてようやく個々の持ち前のプレーを發揮できロングシュート、ポストプレー、速攻と充分に力を出し切れたようです。しかしゲームが終了した時は体中の力が抜けて行く様な気さえしました。「世界」で勝つことの厳しさを何度も味わされ、それが将来の大発展につながるのだと思います。いくつかの我々のフラインプレーに対し観衆の熱気にみちた声援

てしまいます。この失点をもっと少なくするには、ポストに入る途中のボールカットが出来るようになってきたら試合内容もずいぶん変わって来るのではないかと思います。

それにしても、ユーゴ入りと同時に、空港で「今回も是非優勝したい。自信はある」と語っていたという東ドイツが、順位リーグへまわってくるとは思ってもかけないことでした。このところ男女とも国際大会のたびに一つ二つの番狂せがあるのは、実力がますます接近したからでしょう。(F.P., 元大洋デパート)

心強かった観客の声援 対西独 9-12位決定リーグ

牧野涼子

二年前オランダにて行われた世界選手権では数回の練習マッチを行いハードスケジュールの中で12勝2敗と好成績をあげ、これなら世界選手権でも確実に6位以内に入れると思っていました。が世界の壁は厚かった。

そして今、決勝リーグ進出の願いも空しく今回の大会の最終戦を9-12位決定戦として戦う……。

全日本女子遠征成績

▽第5回世界女子選手権(ユーゴ)			
予選リーグB組			
ルーマニア	24	(10-4)	12 日 本
ノルウェー	16	(6-5)	9 日 本
9-12位決定リーグ			
日本	15	(9-3)	11 オランダ
東ドイツ	17	(10-4)	12 日 本
日 本	13	(5-3)	10 西ドイツ
		(8-7)	日本=10位
▽オランダ国際トーナメント(オランダ)			
日 本	16	(7-5)	10 オランダ
日 本	14	(8-7)	12 ノルウェー
		(6-5)	日本=1位
▽親善試合(※印公式国際試合)HC選抜			
日 本	9-9	ニロックス	
日 本	28-5	パリ	
日 本	18-14	フリン	
日 本	21-11	ゴ	
日 本	22-13	ゴ	
※日ユ			
※日ユ			
通算12戦6勝1分5敗			

で何度勇気づけられた事か、あの観衆の「ジャパン」「ジャパン」と口をそろえて応援して下さった声。が今でも強く私の耳朶に焼きついて残っています。大会を終えいくつかの問題点を残し帰国して参りましたが、二度も世界選手権に参加出来ました事、身に付けて来た事を日本ハンドボール界発展の為に役立てたいと思います。(F.P. 東京重機工業)

8年ぶりの勝利 世界選手権

9-12位決定リーグ第1日・オランダ戦での勝利は、40年11月・オルトムントで行われた第3回大会の7位決定戦(日本6-5ポーランド)以来世界選手権において実に8年ぶりの白星。

前回(46年)は1分3敗に終わっており、垂水、牧野ら7人の連続出場組には「宿願の一勝」といえる。

アジア諸国との対戦がいちども記録されていないのはさびしい。(数字はいずれも本誌調べ)

女子の公式戦「30」をこす
さびしいアジアの未交流

全日本女子は今回の世界選手権を終って、昭和37年6月西ドイツとの交流(ハノーバー)以来公式国際試合数が通算33戦(11勝21敗1分)となった。

このうち、世界選手権(4回出場)本大会のみ)での成績は17戦3勝1分13敗で、2勝をマークしたのは今回が初。

国別にみると西ドイツと7戦2勝5敗のほかデンマーク4戦1勝3敗、フランス4戦4勝、ノルウェー3戦1勝1分1敗、ユーゴとルーマニア3戦3敗などが主となる。

世界女子選手権リポート

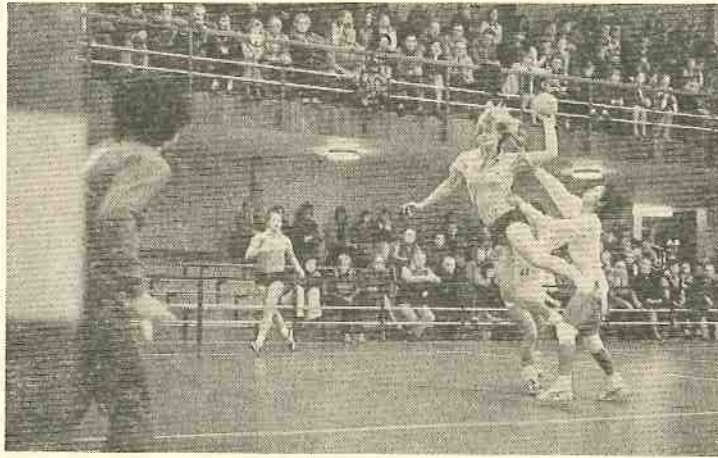
工夫しながらの初優勝

（オランダ国際トーナメント）

三毛直子

前回の世界選手権開催国オランダに於て行われた国際トーナメントは、参加国日本、ノルウェイ、オランダの三国によって繰りひろげられました。ノルウェイ、オランダとは前の選手権で対戦して負けているだけに、全員が気持ちをひきしめて臨みました。オランダとの第一戦は十一月二十三日午後九時からホーグベーンスポーツホームにて行われました。このゲームでは前後半ともコンビネーションがよく合いミドル、サイド、ボスト、シュートとよく決り順調に加点することができました。これに対してオランダの攻撃は最初長身を利用してボストプレーヤーとコンビでシュートを打ってきましたが後半日本のディフェンスが締ってきたため単調なシュートに終ってしまいました。結局十六対十で勝ち海外での第一戦、何かと落着かなかったけれども攻撃防禦共よい出来でありました。

第二戦ノルウェイとの対戦は十一月二十四日午後九時半からアーヘムのエスカ体育館にて行われま



【写真は日本×ノルウェー戦】

（F.P.、田村紡）

した。この国とは本番で対戦するために最初若手中心でゲームが展開されました。このゲームでは日頃監督から口やかましく言われて

いるボストプレーヤーのつぶしかたを練習するためにトップディフェンスをさげたりして色々工夫してゲームに臨みました。結局十四対十二で勝ち、優勝することができました。この二つの試合を反省して私達の弱点であるボストプレーヤーのつぶし方に色々問題があることを痛感しました。この課題

の解決のため全力をあげて練習を続けたいと思います。

ところで、前回の遠征の時もそうでしたが、前哨のゲームで好成绩をあげ自信をつけても、本大会にはその力どおりに行かないという課題が日本に新しく生まれた感じがします。

今回は、私たちもそれを知って六七分の方で前哨戦を消化したのですが、やはり本大会ではここ一番の強さに押され反省しています。（F.P.、田村紡）

フランスでの親善試合

高野晴子

オランダで、三国トーナメントの日程を無事終了し、フランスへ移動、パリ空港に一時足らずで到着、フランスハンドボール協会の指示に従い、市内見物しながらバスでホテルに向かいました。

この中世ヨーロッパの建物の立ち並ぶ、芸術の中心パリで人々は、スポーツに対してどの位の関心を持っているのか、興味を持ちました。しかしそれは間もなく答がでました。ホテルに到着した時、目前に大きなグラウンドが見え、中にはあらゆる競技のコートが整備されており、大人、子供達が一緒に遊んで、午後の一時を過ぎているのです。しかもみぞれ混りの冷たい北風の吹き抜く中で……。

又、市内の至る所の空地にも、ハンドボールコート等が設けられ、子供達の遊んでいる姿が見られました。

ここで改めて、ヨーロッパのスポーツに対する姿勢を、見る事が出来ました。

ところでミレーングではフランス遠征の目的は、世界選手権を控えて、自己のコンディショニングの調整、勝負に対する気迫、ゲーム中における、フォーメーション

の再徹底といった内容を監督さんたちから申しわたされました。

第一戦のパリ地域中西部選抜との試合は、パリ市内からバスで二時間程行ったドルー町。他国のハンドボール関係者の目を気にする事なく、フォーメーション、個々のコンビネーションプレー等を思い切り出す事が出来ました。

一つ気にかかった事は、オーバーステップに対するホイッスルが、日本の場合より早く、フェイントに対しては、一、二歩早くドリブルを使わなければならない、少々とまどいました。

それから二日後、市内のクーベルタン記念体育館で、対フランスナショナル戦。このチームに対する日本のデータはほとんどなく、わからないままにゲームが開始されました。驚いた事は、観客の応援の凄まじさ、ゲーム中に個々の声は通らず、ベンチからの指示など全く聞き取れぬままの状態、前半は一点を争うゲーム展開でした。

しかし後半に入り、館内の雰囲気や、相手の攻撃も読めて、いくつかのフォーメーションが成功し、その他のポイントも重ね、後半は完全な日本ペースとなり、二

勝をあげる事が出来ました。

フランスナショナルチームは、ローリングからの攻撃が主であり、時に見られる速攻等、体格も我に似ているせいか、日本的な攻撃が見られました。

この試合は、コートも狭く、日本の持ち味である速攻が思う様にせず、今回の遠征の中で一番やりにくかった試合ではなかったかと思えます。

遠征の全試合を通じて、特に感じた事は、体格的な面と、彼子達の力強いプレートの数々でした。又、大きな者は、180cm以上、小さい者でも160cm以上もあり、日本ではロングシューターの部類です。試合最中のセットに於いて、G

日本を離れて初めて異国の土を踏む、試合に限らず何をどうも目新しく興味深く感じられました。国際親善の大きな意味を持つレセプションも大いなる期待がありました。ヨーロッパに於ては殆んどの試合が夜行なわれ、その後のレセプションですら、深夜におよぶ事も度々でした。私達が最初に経験したレセプションはフランスでした。日本ではとかく丁寧な相手をもてなし、喜こんでもらうという事で、計画され、準備万端をといった傾向がありますが、

Kがほとんど見えず、ディフェンスの間から、見える程度、我々小さい者に取って見えるのは、速攻に出た時位です。少し大きな表現ですが、それだけに、速攻は我々に取って重要な得点源である事

を痛感しました。又、速攻に出来ないかった時のプレーム出来る様に、遠征で学んだ事を取り入れ、今後努力、精進して行きたいと思えます。

(FP、日本ビクター)

初めて“本場”に遠征して

鳥居君子

11月19日22時30分KLMオランダ航空機は私にとつては初めてのヨーロッパに向けて出発した。16時間余りの機内では、時差による朝昼夜の、めまぐるしい変化、それに伴う数回の食事。最初のうちは、めずらしさの余り、喜

んで食べていたものの、その内に嫌気がさし、だんだん食欲がなくなってきた。そして足腰の痛みや時差で心身共にだるく、ボケてしまった。いきなり、遠征の難しさに、に出会ったようなものだ。最初の訪問国・オランダのアム

ここには私の抱いていた固苦しいイメージは全くなく、いかにも自由で解放的なムードがありました。服装も自由でラフな感じを粹に着こなし、それぞれが自分のおしゃれを楽しんでいるといった感じ

り上がり、ついに席を離れて踊り出したり、歌を端い合ったり、時がたつのさえ忘れてしまします。お互いに気がねなく、その場の雰囲気を楽しんでいるという感じは、とても好感が持てました。

欧州のレセプション

山下恵美子

ここで、その場の雰囲気によく合ったものでした。

ユーゴで行なわれた総合レセプションでは、世界各国のチームが一つの広間に集まり、食事をしながら最後の夜を楽しみました。

そのうちにどこからともなく歌が出始め、ギターを片手に白慢ののどを披露、だんだん雰囲気は盛

地元優勝という事で、一躍国の

(FP、元大洋アパート)

ステルダムに着いたのは、11月20日朝方の6時30分。まだ薄暗く吐く息が真白であった。こちらは夜明けが遅く、まだあたりのネオンが鮮やか。日が昇るにつれ、あたりはアムステルダムの町並が美しく、日本の様にビルディングの密集はなく、建物は同じ高さで造られ、茶と白で統一されている。日本ではユネスコ村とか特別にしか見られない建物ばかりであった。

11月23日「オランダ国際トナメント」が開幕。とにかく驚いたのは外人選手の身長、体格の大きい事。初めての国際試合に臨む私は、話に聞いてはいたもののこの人達を見ただけで圧倒されてしま

英雄となったユーゴチームの華やかさに比べ、何となく控えめなルーマニア、どこに行っても明るく陽気な感じのするオランダ等、十二ヶ国それぞれのカラーがあり、面白さのあるレセプションでした。私達はぎこちない片言英語に、表現力豊かなジュエスターを交え、サインやパッジの交換等で、交友を深める事が出来ました。初めて経験するヨーロッパのレセプションの印象は想像以上に自由で明るいものでした。

った。果たして日本でやっているプレーで通用するのか不安だった。

この国際トナメントに於いても、世界選手権に於いて試合に臨んで強く感じた事は、外人のディフェンスでは、ロングシュートは思いきりジャンプしないと、ゴールが見えないことである。ゴールインしてもゴールインなのか、どうかすぐには判らない。こんな試合は国内では絶対経験できないものであると思う。そしてクイックモーションやディフェンスを利用してのアンダーシュートなどは聞いていた通り充分通用した。

外国勢の長身と力を生かしての攻撃、特にポストプレーは男子並のものだった。そしてそれは必ず7MTスローに結びつけていた。ロングや、サイドシュート等も長身を生かしてタイミングをずらしたものが目立った。

ただ全体的にスピードのある速攻には欠けていた様だった。小さな体で小回りをきかせた突進力とスピードのある速攻こそ日本特有のものであり、これは世界で充分通用するものだと思う。

世界選手権の開催地ユーゴの「ザビドビッチ」は、アムステルダムなどよりさらに窄く一面銀世界で、町は先に訪れたオランダや、フランスの様に華やかな様子

世界女子選手権リポート

もない。

私達は町の人達に大変な歓迎を受け、又試合では観衆は、皆日本を応援してくれ、大変感激し、心強く思った。各地では、いろいろな方々に御世話になりましたが、なかでも特に印象深いのはオランダのハンドボール協会のビムご夫妻。先回の遠征でもお世話になったそうで今回も私達の事で大変気を使っていた。

さらにユーゴに於いてはベスナーさんという女性の通訳の方が大変やさしく、しっかりしておられ、言葉で苦勞した私達にとって、とても助かり、また生活面でも和やかな雰囲気を作ってくれた。

初めてのヨーロッパ遠征で私自身試合では外国選手のプレーを見て世界で通用するプレーというものを、もっと自分なりに習得していかなければならないと思ひ、そしてこの遠征で体得した数々の事、この経験を生かし、これからさらに頑張っていきたいと思ひている。

最後にこの遠征に関しているいろいろお世話下さいました方々に深く感謝致します。(F.P.ブラザー工業)

ユーゴにおける前哨戦

米 恵美子

十二月十九日日本を發ち、オランダで開かれたノルウェー、オランダ、日本の三国が出場した三國トロナメントを皮切りに、フランスでの親善試合二試合を含め計五試合を消化し、世界選手権大会の開催地であるユーゴへ入った。ユーゴはチームにとっても私にとっても初めての訪問国であり、入国するまでは前回の遠征の時に立寄ったルーマニアの印象が大変強くユーゴの国にも同じ共產圏のイメージがそのままあるものと思ひ、いたせいかユーゴに着き、まず感じた事は、同じ共產主義国家であるルーマニアに比べ、ゆるやかなのでかなりの近代化があり、街並みの雰囲気も共產圏に見られがちな陰湿さはほとんどなく活気ある明るい町の様子が大変印象的であった。

本大会までのユーゴでの長期間の滞在の目的はユーゴとの親善マッチを通して本大会でピークの力を発揮できるようにコンディショニングの調整、それに優勝最有力候補に日本の力がどれだけ通用するか、また体格、パワーが日本に比べ数段上の外人選手に対する試合慣れ等々であった。十二月三日、ユーゴでの第一戦目をザグレブスポーツホールに於いてユーゴナショナルチームと対戦。日本は若手を中心にゲームを運んだ。3対0と前半最初のうちは日本が先手が展開したが、ユーゴは日本のスマミディーな動きに面くらったのかミスが目立ち、攻守共に少々もたついていたがすぐに調子をとりもどし、後半はさすがに最有力チームらしい貫録が見られ完全にユーゴのペースになってしまった。ユーゴのディフェンスは一線防禦を敷き、日本側のポストプレーは、かたいディフェンスに完全に封じられてしまった短調なロングスタインディングシュートも、長身の大型ディフェンスにはほとんど通らず得点の加算にかなりのくふうを要した。日本の主だった得点は視野外からの走りを利用し早いワンクロスカからのタイミングをずらしたシュートや速攻、またフォーメーションプレー等……。

11-21とダブルスコアで敗れたが日本の力がユーゴナショナルチームに對しどの程度のものか、また日本の持味をわずかながらも発揮できたことは、それだけでも大きな収穫だったと思う。ユーゴナショナルチームは、二年前オランダに於て開かれた第四回世界選手権大会の際同じ宿舎だった関係で、何度か練習マッチを交えたりし、其の後三年間の間にはずいぶん選手の入替えがあり、前に比べかなりチームが若返っているがチーム力はほとんどおちておらず、むしろ前回の選手権で活躍していたベテランのトルティヤパレザノビッチなどのプレーにますます磨きがかけられ、オランダ大会で見たユーゴの力よりはるかに上廻っているように感じた。

二戦目はザクレブからバラディンへ移動し、十二月五日バラディンスポーツホールで再びユーゴナショナルチームと対戦した。この試合も日本は好調なすべり出して第一戦に同じく日本が再先制した。前半は何とか点差を開かず必死でくさがっていったが、後半は完全にユーゴのペースで試合が運ばれた。ユーゴは、ロング・ポストとクイックプレーもうまく使い分け、特に両試合における大きな要因は日本の弱味である長身者のポストプレーを多用し、ユーゴは得点を重ねたことである。体格差による、そういったハンディキヤップをここでも感じさせられた。また、両試合共日本はルーマニアなどの目を意識し、最初の目的の一つである優勝候補に公式戦に於て日本の最高の力をためすことができなかったことは心残りだった。

ユーゴでの親善マッチを通して感じたことは、日本の弱点である長身プレイヤーに対する守りをさらに強化し、この経験を生かし、次の大会に役立てていかななくてはならないと思う。

最後にこの遠征で学んだ見聞を生かし、日本ハンドボールの発展の為に役立てていきたいと思ひます。(F.P.、元大洋デパート)

全日本男子、ユーゴに2敗

【速報】第8回世界男子選手権にアジア代表として出場する全日本男子(林達夫団長、北川勇喜監督ら15人)は、2月19日ユーゴに到着、22、24日の両日、ユーゴナショナルと対戦、両試合とももつれあった展開となったが、結局ユーゴが地力を示し、日本は勝ち星をあげられなかった。

これでユーゴと日本の対戦成績はユーゴの7戦5勝1分1敗。

▽第1戦(ベオグラード)	ユーゴ	36	(2115)	16	24	日	本
▽第2戦(パンチェボ)	ユーゴ	27	(1512)	7	17	日	本

HONDA の 5文字は世界を走る!!

次から次と独創的な製品を発表し、つねに世界に話題を提供するホンダ「世界に類のないものを創ろう!」このホンダイズムから生まれる魅力ある製品は海外150ヵ国の人々に愛され「技術のホンダ」「世界のホンダ」として高い信頼を得ています。

CIVIC



本田技研工業(株)鈴鹿製作所

三重県鈴鹿市平田町1007 TEL 0593-78-1212(代)

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
海 外 ト ピ ッ ク ス

杉 山 茂
(NHK運動部)

活発なアメリカ大陸

今シーズン注目されるのはアメリカ、カナダの活発な動きである。アメリカ地域は、日本が孤軍奮闘するだけのアジア地域と並んで国際ハンドボール界ではマイナーな立ち場であったが、最近の活動は完全にアジアを抜いている感じだ。

これにはいくつかの理由が考えられるが、なんとといっても、2年後、カナダ(モントリオール)でオリンピックが開かれることが大きい。

ホスト国カナダは、無条件でオリンピック出場権が与えられるため、これまで無名のハンドボールにもにわかに関心が強まり、先輩国ともいうべきアメリカで、もっともハンドボールの盛んな地区

が、カナダと隣接の北米であったのも幸いした。

「北」の発展へ呼応するかのようには、「南」でもブラジルがルーマニア、フランス、スペインなどラテン系諸国の活躍に刺げきされて熱を入れはじめ、アルゼンチン、メキシコも積極的な動きを示しはじめた。カナダとブラジル両国は4月イタリヤで開かれるラテンカップトーナメントに出場する予定。

今回の世界選手権には、最終的にアメリカ、アルゼンチン、ブラジルの3ヶ国だけとなったが、当初はカナダ、メキシコもエントリーし、アジアをしのぐ勢いを見せた。

アメリカ地域予選は、本誌既報のとおり、昨年11月ウエノスアイレス(アルゼンチン)のルナ・パークで行われアメリカが攻守に一日の長を示し優勝したが、同予選3日間に動員された観衆は二万二千。最終日のアメリカ対アルゼンチン戦では一万人が詰めかけ、この地域では初のテレビ中継も行われた、という。

プロスポーツを頂点に、スベクテータースポーツの王国ともいえるアメリカ大陸で、ハンドボールの面白さが理解されはじめたということは興味深い。

なお、昨冬のスウェーデンにつづき、1月末から10日間フランス

がアメリカ、カナダ遠征を行い、モントリオール、オッタワ、バハアロー、ニューヨークの4都市を転戦しているが、その記録は次のとおりである。

フランス	22	(1210)	17	カナダ
フランス	22	(1012)	13	カナダ
フランス	22	(1111)	13	アメリカ
フランス	28	(1414)	17	アメリカ

ユーゴ得失点差で優勝

世界選手権の前哨戦としてフランスの関心を集めた西ドイツ国際トーナメントが1月ミュンヘンなどに4ヶ国が集まりリーグ戦で行われた。

大会は、オリンピック優勝国・ユーゴの試合ぶりが中心となったが、第2日闘志を燃やすチェコに大激戦の末、1点差で敗れた。これでチェコが優位に立ったとみられたが、最終日西ドイツに敗れ、3者が2勝1敗で並び、得失点差でユーゴの優勝が決まった。

ユーゴの主力はアルスタナジッチ、ゾルコの両GKのほかL・L砲、ミルヤク、ホルバット、ポクヤクらの来日組、西ドイツもシユミットをはじめブツヒャー、エムリッヒ、ムンク、ベステベ、GKカーターら日本の土を踏んだ名手たちが相変らず元気なプレーを

見せた。なお、この大会の得点王は15ゴールしたミルヤク(ユーゴ)とティルダル(ノルウェー)。

ユーゴ	21	(1110)	15	西ドイツ
チェコ	19	(910)	18	ユーゴ
西ドイツ	20	(119)	14	ノルウェー
ユーゴ	25	(1510)	14	ノルウェー
西ドイツ	20	(812)	17	チェコ

【順位】①ユーゴ2勝1敗(得失点差16) ②西ドイツ2勝1敗(3) ③チェコ2勝1敗(マイナス1) ④ノルウェー3敗

審判員欠席の珍事

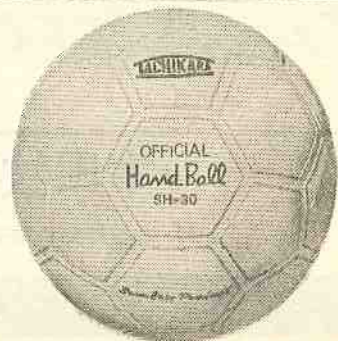
試合開始時間になっても審判員が現れない。草試合ならともかく、れっきとした国際試合、それも世界選手権予選でこのような珍事がおきた。

話はちょっと古いが昨年11月23日ローマで行われる予定の第8回世界選手権ヨーロッパ地域予選第1群アイスランド対イタリアの2回戦。会場のスポーツパレスには千人の観衆が集まり、両国選手も練習をすませて試合開始を待つばかりとなったが、審判を担当するユーゴのユリツク氏とクリスティツク氏のうち、ユリツク氏の姿がいつになっても現れない。

日本ハンドボール協会公認球
ミムレスハンドボール

- パスワークのさえ
- オーソドックスなデザイン
- ハンドリングのよさ

TACHIKARA タチカラ株式会社



両国選手はしだいにいら立ち、観衆も騒ぎだしたが時間は経つばかり、イタリヤ協会は仕方なく予選は後日協議するとして、親善試合に切り替えてこの日は収めた。

ユリツク氏は最後まで姿を見せずあとで調べてみると、IHF（国際ハンドボール連盟）からの連絡を旅行中で見ていないことが判った。相棒のクリスティック氏は、会場で当日会えるものだ、と決めこんでいたそうだが、ここらの感覚、日本ではちょっと解りにくい。

イタリヤ協会はIHFに提訴したり、ユーゴ協会に抗議したり一騒ぎのあと、予選のほうはあっさり「棄権」してしまった。

流行の15分ハーフ国際大会

1試合を15分ハーフに縮め、一日で国際大会を終らせてしまうショートニング・マッチがこのところさかんに行われている。

最近でもパリ・トーナメント、フリオボーグ（西独）トーナメントがこの方式を採用した。

パリ大会はパリ選抜、西ベルリン選抜のほかフランス、ルーマニアが出場、ガツ、グネス、キクシド、GKベヌラベストメンバールを送りこんだルーマニアが、3試合で46点（23失点）をあげる強味を示し順当に優勝した。

フリオボーグ大会も南バーデン

選抜、FAギョッピンゲン（昨春来日）の地元勢のほか、ソビエトスイス両ナショナルが参加、ソビエトの優勝となった。

このシステムがうけているのは最初から各チームがスパートし、よりスピード感が強まること、思わぬ波乱が期待できる興味からだ。

パリ大会ではパリ選抜がフランスを8-7で破ってしまっし、フリオボーグ大会でもギョッピンゲンがスイスを6-5で降し、ソビエトにも8-9と善戦、スタントを興奮させている。

モントリオール カナダの報道聞ル五輪の会場 係がこのほど伝えたとおると、モントリオールオリンピックのハンドボールの主会場としてポール・ソールベスター体育館が内定した。同体育館は五千人の観客を収容でき、オリンピック（選手）村から2キロほどの所にある。この会場は男女の準決勝リーグ、決勝にあてられ、予選ラウンドはモントリオール周辺の体育館で行われる予定。

OSCR 西ドイツ女子・OSSCライオンハウゼンは、ニードルハイン地域リーグに属し、今シーズンの試合をつづけているが1月未現在、14戦して10勝3分1敗と好調、首位に立っている。なお、来日チームの主力であったドリブ

ルの名手シュトリビッシンと181cmの長身コルテは今季、1部リーグのTW・ギットンに加って活躍している。一説には両選手は来日時も同々の所属でOSCRに補充されてきたといわれる。

女子（第13回）は1月までに1回戦7カードが終了、シードのフロホベック（チェコ）を加えてベストエイトが出揃った。

連勝を狙うスバルタク・キエフ（ソビエト）はブリュエル・セントゴール（スイス）を相手に16-9、23-7と快勝、好スタートを切った。このほか、アイントラクトミッデン（西ドイツ）がFIF・コペンハーゲン（デンマーク）を、SC・ライプチヒ（東ドイツ）を、IEFS・ブカレスト（ルーマニア）を破った。また、世界選手権優勝国ユーゴの代表ラドニツキ・ベルグラッドはルク・シヨルゾウ（ポーランド）に第1戦を17-18でとられたが、第2戦は18-14で勝ち辛くも進出した。

好スタート

男子（第14回）は世界選手権のため、いちじ中断、3月21日からの準決勝で再開する。準決勝の組み合わせはセルベナ・ブラチスラバ（チェコ）×VFL・グンメルスバットハ（西ドイツ）、オプサル・オスロ（ノルウェー）×MAI・モスタワ（前回優勝、ソビエト）。

ルーマニア、中国遠征か

渡辺和美日本協会副会長は2月20日東京で「今夏、ルーマニアのチームが中国へ遠征して北京などで試合をするようだ」と語った。

この情報は、同副会長がIHF（国際ハンドボール連盟）理事として、世界男子アジア予選の視察（テルアビブ）に赴いた際、同席したI・クンストIHF技術委員（ルーマニア）から聞き出したもので、遠征するチームは、ルーマニア学生選抜

（世界学生1位）ではないかという。IHFは、未加盟国との交流を禁じているが、加盟の意思をもつか、その準備中の国とはさしつかえないとの見解をとっている。

日本協会では中国がこれを機会に国際舞台への登場についてなんらかの動きを示すのではないかと注目している。

なお、ルーマニアは昭和35年6月日本遠征の途次、ナシヨナルチームが中国へ立ち寄り、2戦（2勝）した実績がある。

日本ハンドボール協会公認



ゴールドスター
ハンドボール
シューズ

岡山 釣鐘工業株式会社 東京



'73

(株)三景は企業の繁栄を通じて
より豊かな生活、
より明るい社会を創造する。

繊維専門商社 株式会社 三景



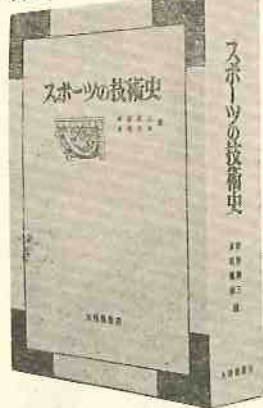
グループ本部 東京都千代田区岩本町3-2-10 〒101

(株)北越三景 (株)東京三景 (株)甲商三景 (株)大阪甲商三景
(株)サンレディ (株)サンワード (株)サンライン

スポーツの技術史

近代日本のスポーツ技術の歩み

新刊



菊判・656頁・上製函入
定価2500円

東京教育大学教授 岸野雄三 編
東京教育大学助教授 多和健雄

●近代スポーツの歩みを技術史的にとらえた日本における近代スポーツの歩みを、技術史的な視点からたどり、各スポーツ種目ごとの発展の概要をのべたユニークなスポーツ史である。各種スポーツの意味を技術史的に吟味し、それを通じて、人間とスポーツとの文化的な深さを追求したもので、体育・スポーツ関係者の格好の教養書である。

- 【収録種目】①体操 ②陸上競技 ③競泳
④柔道 ⑤剣道 ⑥レスリング ⑦バスケットボール
⑧ハンドボール ⑨バレーボール
⑩サッカー ⑪ラグビー ⑫野球 ⑬テニス
⑭卓球 ⑮バドミントン

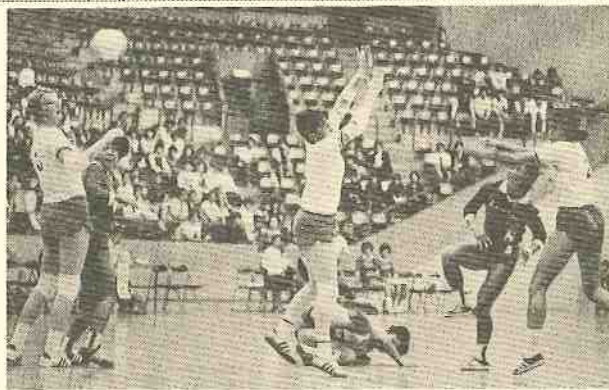
写真と図解による
荒川清美・石井喜八著
よまやく国際的水準に到達したハンドボール競技の普及向上に骨身を惜しまず尽力されている著者が、長い間の研究成果を独自の撮影技術による豊富な写真により解説した待望の技術書。
A5判一四〇頁 定価五〇〇円

ハンドボール

大修館書店 〒101 東京・神田錦町3-24 振替/東京40504 ㊟294・2221<大代表>

昨秋来日した西ドイツ・ラインハウゼン・ハンドボール女子チームは今なお私に「女子ハンドボール」のあり方について考えさせるものを残している。スポーツには頂点強化の面とは別にレベルは低くても真剣にかつ楽しくという広い圏を対象とした面がある。そして日本の女子ハンドボール界を眺める時この面の欠如が目立つのではないだろうか。ほんとうに気楽にとりくめるハンドボールが陽の目を見ないので普及はあっても人氣がない。目立つのは死に物狂いで勝負を競っている実業団、大学、高校のエリートチームばかりである。少年やお嬢さんたちにもできるハンドボールはやる方も指導する方も様々な壁にぶつかり挫折することが多いのではなからうか。たしかにハンドボールにはテニス、卓球、バレーボールのようなとびつき易さがないかもしれないが、握力や脚力の劣っている者にも楽しめ、除々に上達させる道があつて然るべきだと思ふ。ラインハウゼンの楽しげなハンドボールはその練習日程や目標をきけばなるほど日本の女子実業団のトップチームの相手ではない。大学の女子かOGのクラブチームとの対戦がよりふさわしく、そのシリーズの中に一試合全日本レベルの対戦を組んでみたらおもしろかったらるうと思ふ。残念乍ら現状では実

現のむずかしいことだが。彼女らはベテランのグラマーベン監督に率いられたハンドボールを通じて文化的交流を強く希望し試合後のレセプションや観光において歌い踊り、共通のテーマについてデスカッションも熱心に東洋のめずらし



ラインハウゼン残燭

久田 暁

(日本協会国際担当理事)

い範囲で美容と健康と友だち作りのために家族ぐるみでラインハウゼンのクラブに集まり楽しくハンドボールをやる、大きな大会にはその中のベストメンバで代表チームを送り出す。学校、職場中心の日本スポーツ界の体質ではあまりまねの

い物事に研究的まなざしを注いだ。我々は彼らのペースにまきこまれいつのまにか国際理解と友情を深めて行くのだった。気楽に日本を転戦しながらも規律を守りまじめなチームだった。仕事(勉強)と家庭生活のバランスをくずさな

ってまんな。「ハンドボールよりもっと女の子らしいスポーツをしないさいといわれているので……」女子のハンドボール選手でも「全日本を見に行かない?」「女子はつまらないから男子の試合を見ましようよ」。若い女の子のこんな

話を耳にしてハンドボールマンとしてショックをうけるのである。学生リーグに登場するのも体育系大学の女子部ばかりである。女子ハンドボール男子並みの体力、この印象が日本では強すぎないだろうか。このままでは女子の種目としてのハンドボールはあまりにかわいそうだし、我々ハンドボールをやった者として肩身が狭い。学校対抗、企業対抗の意識が強すぎるのがハンドボールの気軽な愛好者を近づけさせないとすれば、バレー、サッカーなどの広いファン層はどうして生まれたのだらうか? チームスポーツとしてのハンドボールに「ハンドボールが好き、ハンドボールをやってみたいわ」というファンを生む方法を真剣に創り出すべき時期であると思う。第8回世界選手権(3日間)がブエノスアイレスの競技場に集ったと近着のIHF公報は伝えている。ハンドボールは決してつまらないスポーツではない証拠だ。一般ファンや同好会そして部が一体となって頂点を支えるハンドボール構成の実現をめざしてがんばって行きたいもので、ラインハウゼンの来日と姿はその一つの教訓になるのではなからうか。(カット写真はラインハウゼンX大崎電気戦・48年9月18日、東京駒沢)

Molten
ハンドボール

(確かさの誕生)



〈日本ハンドボール協会検定球〉

モルテンゴム工業株式会社

男女とも福島勢が勝つ

各地の記録

第10回東北総合室内選手権は1月26、27の両日山形県体育館に男子12、女子11チームが参加してトーナメントで行われた。

男子は、前回優勝の青森クを準決勝で降したSGク(福島)が余勢をかって、決勝でも3度目の優勝を狙う岩手教員クを巧みに制して勝ち初優勝をとげた。福島代表の優勝は第2回の福島教員ク以来のこと。

女子は、事実上の決勝とみられた準決勝・東北ムネカタ(福島)×全和洋(秋田)で勝った東北ムネカタが、決勝は若い涌谷高(宮城)を押しまくって2年連続3度目の優勝を飾った。福島県の男女優勝は初。

▽同準決勝
湯沢高 22(111) 8
(秋田) 4 12
宮城教員

▽同準決勝
岩手教員 17
12 7 7 7 7 7
1 1 1 1 1 1
0 0 15
聖光学院
工高
(福島)

▽同準決勝
SGク 13(6) 3
7 5 3 8
青森ク

▽同決勝
岩手教員 14(8) 6 7
6 7 13
湯沢高

▽同決勝
SGク 14(6) 8 3
6 7 10
岩手教員ク

▽女子1回戦(3試合)
全青森西 7(3) 4 3 5
高(青森) 3 4 1 2 5
岩手女高(岩手)
古川女高 5(0) 5 1 1 2
竹田女高(山形)
石川高 9(6) 3 1 1 1
米沢女高(山形)

▽同準々決勝
東北ムネカタ 10(4) 6 1 1 1 2
全青森西高
(福島) 2

全和洋 17(7) 10 2 2 4
古川女高(秋田)
大曲農高 10(5) 5 4 4 8
花巻南高(岩手)
涌谷高 9(4) 5 1 3 4
石川高(宮城)

▽同準決勝
東北ムネカタ 6(4) 2 1 1 1 4
全和洋
東北ムネカタ 6(4) 2 1 1 1 4
大曲農高

▽同決勝
涌谷高 8(2) 6 1 1 1 5
大曲農高

▽同決勝
東北ムネカタ 10(5) 5 1 3 0 3
涌谷高

SGク 25(12) 13 1 5 8
盛岡商高(岩手)

▽同準決勝
岡山教員、柏会振り切る

▽岡山県一般室内選手権(1月・岡山県営体育館) 男子のみ
1回戦(2試合)
岡山大 13 4
岡山教員B
児島柏会 27 10
天城OB

▽準決勝
岡山教員 16 10
岡山大
児島柏会 16 12
倉商OB

▽決勝
岡山教員 17(7) 10 8 15
児島柏会

▽第6回長崎県室内総合選手権(1月・長崎工)
一般男子1回戦(3試合)
長龍会 16 7
海白二群
佐世保ク 17 7
北星会
佐世保北 30 14
海白佐世保

▽同準決勝
佐世保ク 18 14
長龍会
高OB 34 9
大村航空隊

▽同決勝
佐世保北 26(13) 13 8 14
佐世保ク

▽高校男子準決勝
長崎工 10 9
国加
国加 42 2
大村H・S

▽同決勝
国加B 30(17) 13 12 6
長崎工

男子で一衆が進出
奈良県高校選手権(兼新入戦、

1月・奈良高)
▽男子準々決勝
一 衆 22 4
核井商
添 上 20 3
郡山
東大寺 7 3
榛原
生駒 7 4
奈良

▽同準決勝
東大寺 7 2
生駒
一 駒 10 9
添上

▽同決勝
一 衆 13(7) 1 1 4 5
東大寺
▽女子1回戦(2試合)
核井商 5 1 1 十津川
一 衆 6 5 郡山
▽同準決勝
核井商 5(延) 4
生駒
添上 4 2 一 衆
▽同決勝
添上 12(8) 0 0 0
核井商
北佐久農高

▽女子1回戦(3試合)
美須々丘高 11 5
城南高
小商ク 不戦勝
仙緑ク
小諸商高B 26 2
佐久高

▽同準決勝
小諸商高 12 8
美須々丘高
小諸商高B 11 8
小商ク

▽同決勝
小諸商高 22(10) 12 10 18
10 12 18
10 12 18
B
小諸商高

▽第13回富山県一般男子室内選手権(2月・富山市体育館)
1回戦(2試合)
富山大 18 8
二上OB
富山教員 21 12
八尾OB

▽準決勝
氷見ク 19 9
富山大
想球会 15 10
富山教員

▽決勝
氷見ク 27(5) 22 16
5 12 16
想球会

▽女子はいぜん青森西
▽第4回青森県教育長杯争奪高校選手権(1月・弘前市民体育館)
▽男子準々決勝
選手権(1月・弘前市民体育館)
柏木農 17 13
青森東
青森商 15 14
鯉ヶ沢
弘前南 19 8
青森商B
三本木 15 11
青森

▽同準決勝
青森商 10 8
柏木農
三本木 12 6
弘前南

▽同決勝
青森商 16(8) 8 6 13
8 13 6 13
三本木

かつらお 18(11) 1 1 7 9 11 15
1 1 0 1 17
上田高

▽同決勝
上田高 7 4
北農高

▽同準決勝
かつらお 17 12
上田ク

▽同決勝
上田高 7 4
北農高

▽女子1回戦(3試合)

青森西 8-3 青森

青森西 12-10 三本木

同準決勝

七戸 7-6 野辺地

青森西 9-2 柏木農

同決勝

青森西 16(8-0)2 七戸

前橋ピジョンズ順当勝ち

▽第14回群馬県総合選手権(1月)

前橋商体育館

▽男子準々決勝

前橋工 30-13 相馬原白

OB 22-14 前橋商高

群馬教員 30-16 前橋商

富岡高 22-18 光電工業

同準決勝

前橋工 19-18 富岡高

OB 35-23 富岡高

群馬教員 35-23 富岡高

同決勝

群馬教員 28(1216-168)24 前橋工

▽女子準々決勝

前橋市女 17-3 群馬女短

高 11-2 前橋商高

下仁田高 21-2 高崎女高

桐生女高 14-3 前橋東商

前橋ピジョンズ 14-3 前橋東商

同準決勝

下仁田高 6-4 前橋市女高

前橋ピジョンズ 11(延)10 桐生女高

同決勝

前橋ピジョンズ 14(104-14)7 下仁田高

同準決勝

コンドル、海自下総制す

▽第6回電ヶ崎市(茨城)大会(1月)

電ヶ崎一高

▽男子準々決勝

コンドル 19-8 電ヶ崎一高

新治ク 10-9 土浦ク

電ヶ崎ク 15-11 土浦工高

海上白衛 20-9 川口工高

隊下総(千葉)

同準決勝

コンドル 16-10 新治ク

海自下総 18-11 電ヶ崎ク

同決勝

コンドル 13(6-5)10 海自下総

▽女子決勝

水海道二 11(7-1)4 電ヶ崎二

四日市工、抜群の強さ

▽三重県高校新人大会(1月・四日市体育館)

男子準々決勝

四日市工 23-1 亀山

津 11-5 尾鷲

津 25-7 海星

高田 10-8 四日市

同準決勝

四日市工 19-8 津

同決勝

四日市工 27(1413-14)7 津

▽女子準々決勝

津女子 15-1 上野商

茨野 7-6 亀山

尾鷲 8-3 津

四日市 8-3 暁

同準決勝

津女子 18-2 茨野

四日市 15-8 尾鷲

同決勝

津女子 10(6-1)2 四日市

大同製鋼ついに12連覇

▽第29回愛知実業リーグ(1月)

名古屋市体育館

▽男子1部

大同製鋼 21-12 トヨタ車体

大同製鋼 30-1 豊田工機

新日鉄名古屋 27-7 トヨタ自工

トヨタ車体 22-14 新日鉄名古屋

新日鉄名古屋 24-4 豊田工機

トヨタ車体 24-9 トヨタ自工

トヨタ自工 15-12 豊田工機

大同製鋼 16-13 トヨタ車体

大同製鋼 20-14 新日鉄名古屋

トヨタ車体 25-4 豊田工機

大同製鋼 19-6 トヨタ自工

大同製鋼 25-9 豊田工機

大同製鋼 21-20 大同製鋼

新日鉄名古屋 11(分)11 大同製鋼

▽順位

①大同製鋼5戦全勝②大同製鋼3勝1分1敗③トヨタ車体3勝

2敗④新日鉄名古屋2勝1分2敗

⑤トヨタ自工1勝4敗⑥豊田工機

5敗

【男子2部順位】①三友工業②プラ

ザ工業③日本碍子④豊田織機⑤

中部電力⑥アイシン精機⑦三菱白

動車⑧パイロットインキ

▽同1・2部入れ替え戦

三友工業 17-11 豊田工機

(2部) (1部)

▽女子

プラザ工業 19-3 豊田工機

プラザ工業 24-5 伏原紡績

伏原紡績 11-6 豊田工機

プラザ工業 19-2 伏原紡績

豊田工機 7-3 伏原紡績

プラザ工業 23-2 豊田工機

【順位】①プラザ工業4戦全勝②

伏原紡績1勝3敗(得失点差マイ

ナス35)③豊田工機1勝3敗(マ

ナス38)

男子は函館勢上位に

▽全北海道高校新人大会(48年12

月・室蘭工高)

▽男子準々決勝

函館有斗 10-9 札幌北陵

室蘭工 14(分)14 札幌北陵

抽せんで室蘭工の勝ち

同準決勝

函館有斗 20-8 室蘭工

函館大谷 16-4 室蘭清水

同決勝

函館有斗 12-9 函館大谷

▽女子決勝

登別 4-2 室蘭商

那覇商OBが初優勝

▽第3回沖繩県一般OB大会(48

年12月・那覇商)

▽1回戦(2試合)

知念OB 12-11 小塚OB

首里OB 19-11 沖繩OB

同準決勝

那覇商OB 10-9 知念OB

興南OB 17-13 首里OB

同決勝

那覇商 27(1710-17)15 興南OB

▽第9回宮城県ハンドボール祭

(1月20日・宮城スポーツセンタ

▽高校

男・東軍 15-13 西軍

女・西軍 18-3 東軍

▽一般

OB西軍 6-7 OB東軍

一般女子選抜 5-5 高女新人軍

▽小学生招待試合

台原小 11-0 附属小

▽学生

東軍 18-15 西軍

▽メインカード(男子)

本誌8頁で所報のとおり日本協会は本誌の購読料(送料共)を次号から

年額(11回発行)

二、三〇〇円

一冊価 二五〇円

と改訂することになりました御承知のように巷間の物価高騰は、日本協会の全事業に影響を与えています。そのなかでも機関誌「ハンドボール」の発行経費は、予想される郵送料の値上げなどを試算すると、これまでの価額では健全な刊行ができぬところまで追いこまれ、読者の皆さまには負担とは存じますが、値上げのやむなきに至りました。

本誌購読料2300円(年額)に

何とぞ、日本ハンドボール界で唯一のコミュニケーショントして読者の支持も増えつつある本誌を、今後も継続できるようご理解の上、ご了承下さい。

また、日本協会登録と同時に購読の義務づけがない「一般C」チーム各位にもおかれましては、つとめて購読いただきますようお願いいたします。編集スタッフもなおいっそう誌面の充実につとめ、皆様の期待する内容をお届けするつもりです。

京都産大、伏見ク破る

▼第18回京都府室内選手権(2月 京都市体育館)

▽男子準々決勝
塔南OB 19-13 竜谷大
星友会 25-16 洛北ク

伏見ク 19-5 鴨沂ク
京都産大 14-13 産大ク

▽同準決勝
伏見ク 16-8 塔南OB
京都産大 17-8 星友会

▽同決勝
京都産大 13(7-5)9 伏見ク

▽女子1回戦(2試合)
精華OG 25-1 嵯峨野ク
篁会 10-3 徵清会

▽同準決勝
精華OG 19-2 西京OG
全明德 12-8 篁会

▽同決勝
全明德 12(7-5)10 精華OG

宿敵同士、日新勝つ

▼第3回広島県総合一般室内選手権(2月・広島県立体育館)

▽男子準々決勝
日新製鋼 22-10 日本鋼管福山
菊 翔会 15-9 広島県教職員

修道ク 11-10 海上自衛隊員
三菱レ大竹 15-12 呉同好会

▽同準決勝
日新製鋼 26-8 菊翔会
三菱レ大竹 12-11 修道ク

▽同決勝

日新製鋼 10(6-4)3 三菱レイ
呉 女子決勝
山陽女高 9(5-4)1 5 広島一女
OG 商OG

▽同決勝
戸町 12-2 小島
深堀 10-9 大野
玖島 17-10 戸町

深堀 20-6 小島
玖島 15-13 大野
茨城・磯部林トナメント(11月・麻生高)参加男11、女18

中学大会記録

◇長崎・第6回総合選手権中学の部(1月、長崎工)参加、男子のみ5校

▽同準決勝
戸町 12-2 小島
深堀 10-9 大野

玖島 17-10 戸町
深堀 20-6 小島
玖島 15-13 大野

▽同決勝
戸町 12-2 小島
深堀 10-9 大野

玖島 17-10 戸町
深堀 20-6 小島
玖島 15-13 大野

▽同準決勝
戸町 12-2 小島
深堀 10-9 大野

玖島 17-10 戸町
深堀 20-6 小島
玖島 15-13 大野

▽同決勝
戸町 12-2 小島
深堀 10-9 大野

玖島 17-10 戸町
深堀 20-6 小島
玖島 15-13 大野

▽同準決勝
戸町 12-2 小島
深堀 10-9 大野

玖島 17-10 戸町
深堀 20-6 小島
玖島 15-13 大野

▽同決勝
戸町 12-2 小島
深堀 10-9 大野

玖島 17-10 戸町
深堀 20-6 小島
玖島 15-13 大野

▽同準決勝
戸町 12-2 小島
深堀 10-9 大野

男女とも玉南中優勝

熊本県 熊本県 熊本県
玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

玉南中 玉南中 玉南中

合織糸・合織混紡糸



田村紡績株式会社

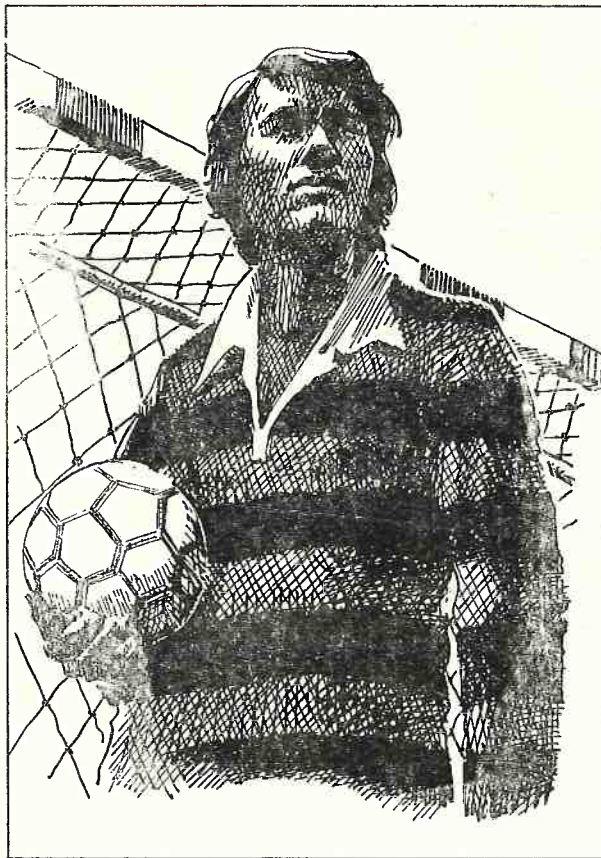
社長 田 村 正 衛

四日市市東茂福町10-17
TEL 0593-65-2156(代表)
郵便番号 512

信頼・技術・情熱

スポーツマンと同じ道をブラザーは歩みます。

ミシン・編機・家庭電化製品・楽器・事務機・工作機……姿・形はちがっても、ブラザー製品の支えはひとつです。信頼される品質を作るすぐれた技術、製品にかけた情熱……スポーツマンと同じ道です。



BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社